

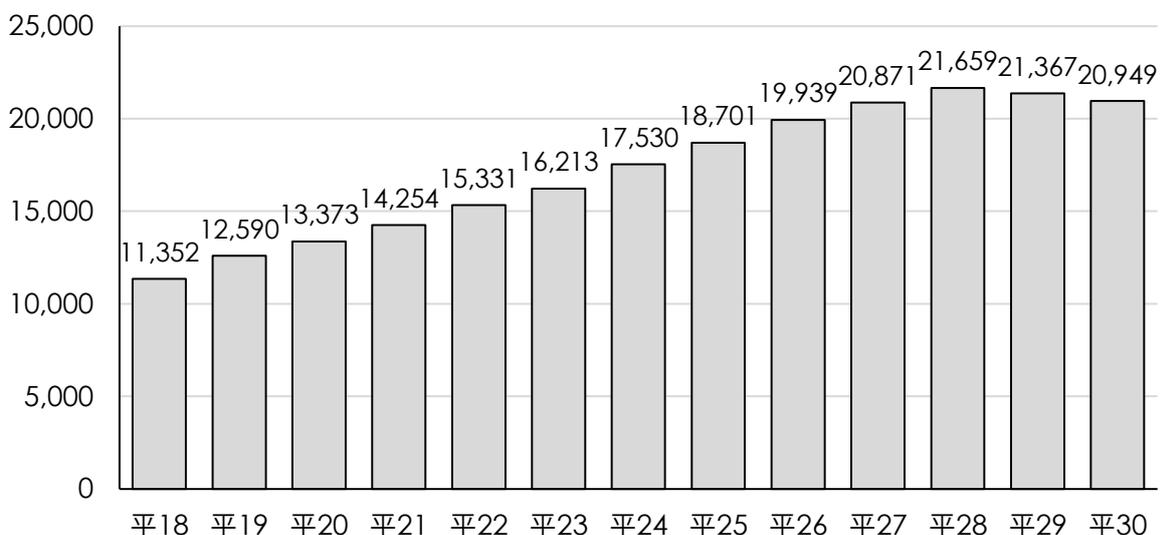
## 資料 給付実績の推移

### 1 介護サービス全体の利用推移

介護保険サービス全体の利用件数は年々増加してきましたが、総合事業の開始とともに平成 29 年度、30 年度は減少しました。

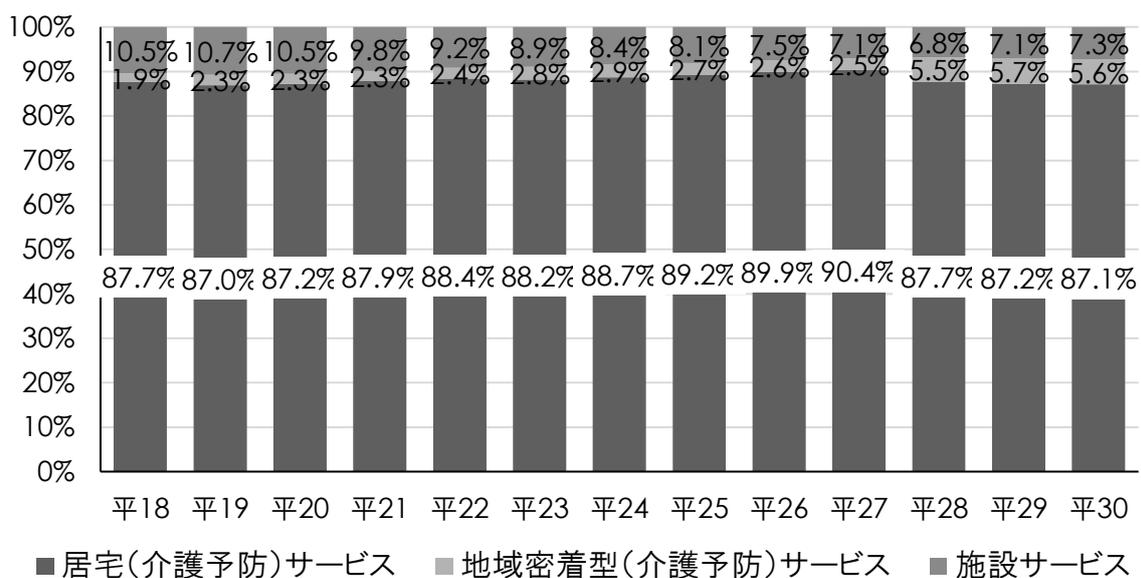
全利用者のうち施設サービスの利用者は 7.3%、地域密着型サービスが 5.6%であり、居宅サービスの割合は 87%ほどで推移しています。

#### ◆介護保険サービス利用件数の推移（1か月あたりの平均値）



※ データは国保連の介護保険事業報告(年報)による。以下同じ。

#### ◆居宅・施設・地域密着の利用件数割合の推移（1か月あたりの平均値）

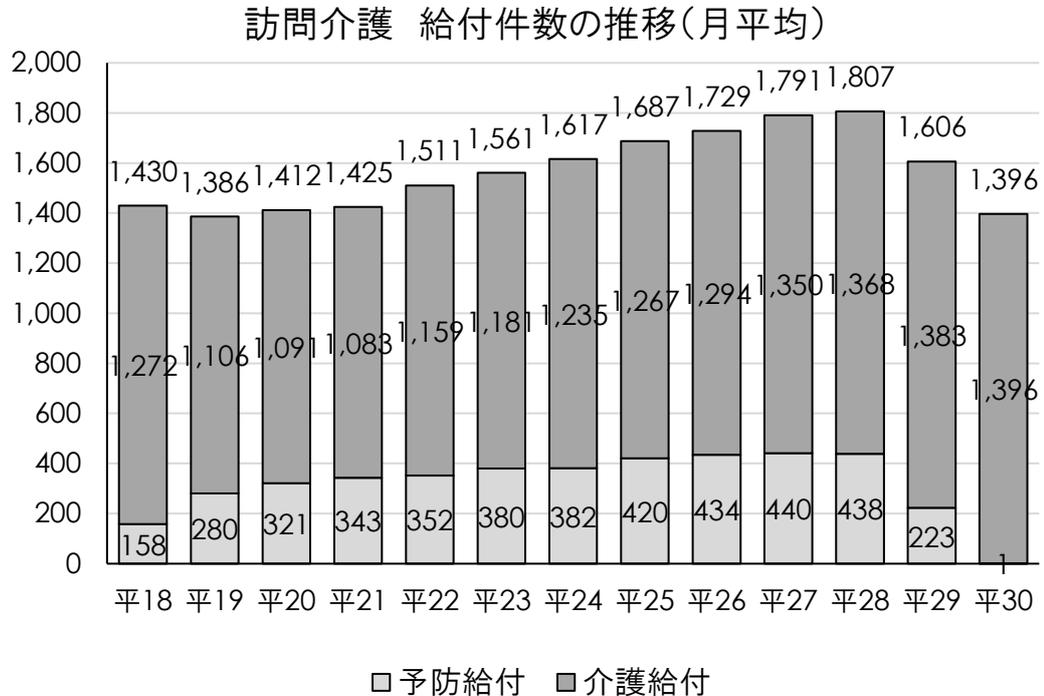


## 2 サービスごとの利用推移

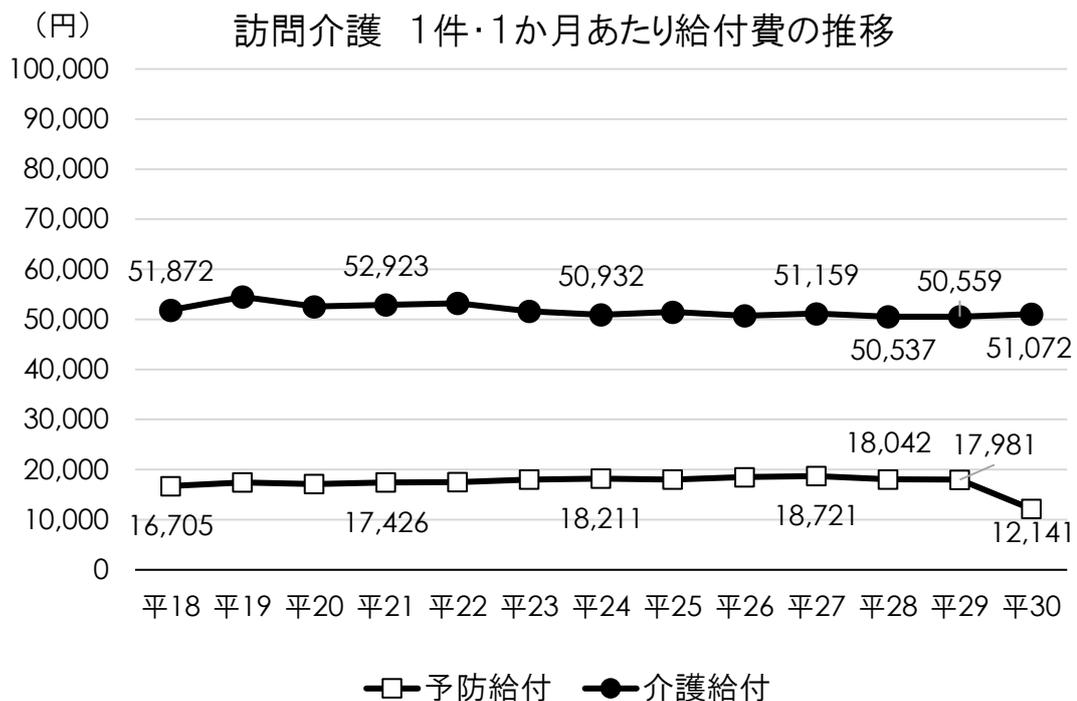
### (1) 訪問系サービス

訪問介護の利用件数は、予防給付が総合事業へ移行したため、平成28年度をピークに大きく減少しましたが、介護給付は平成29年度、30年度と増加しています。

1件あたり給付費（介護給付）については、横ばいで推移しています。



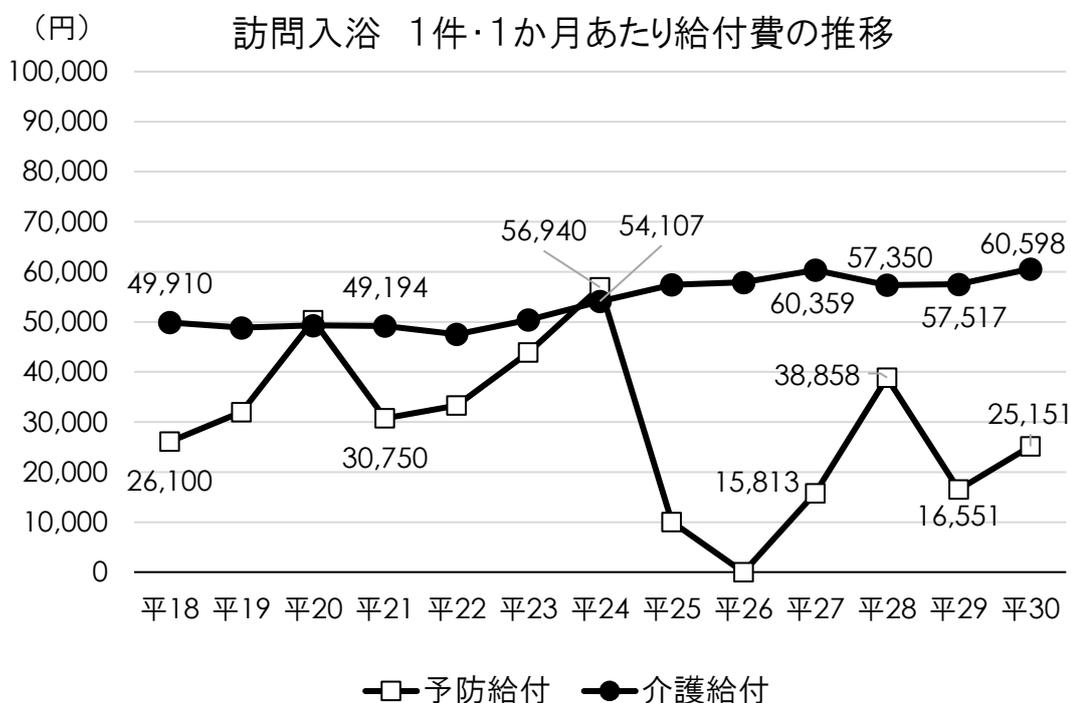
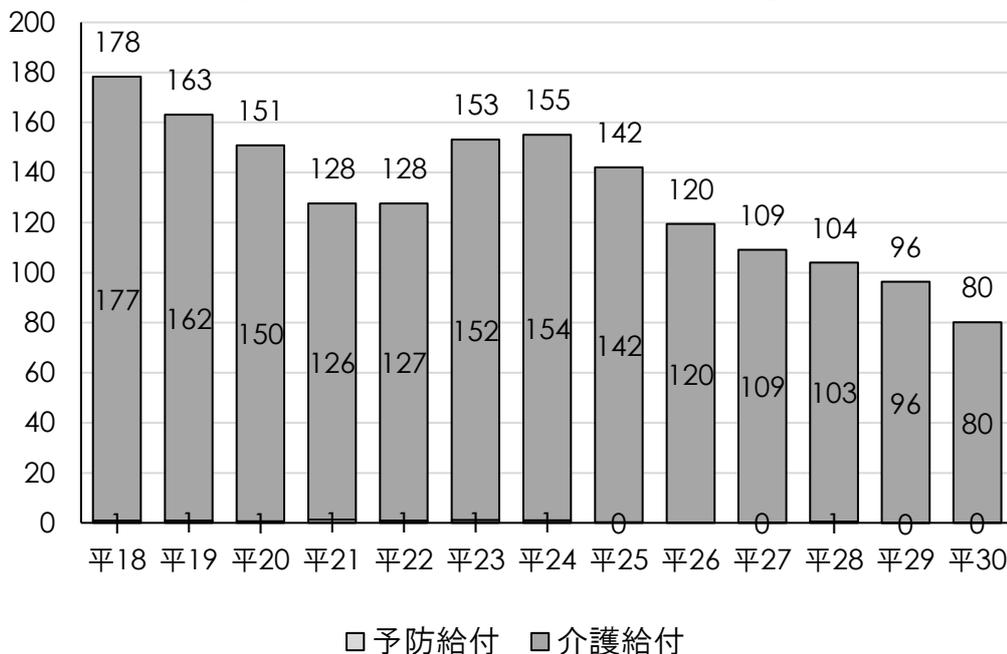
※ 給付件数は1か月あたりの平均値であり、小数点以下を四捨五入していることから、合計値と合わない場合があります。また、「0」と表記されている場合は0.5未満の値があることを示します。以下同じ。



訪問入浴介護の利用件数について、介護給付は、平成24年度以降、減少し続けています。予防給付はほとんどありません。

1件あたり給付費（介護給付）については、やや上昇傾向にあります。

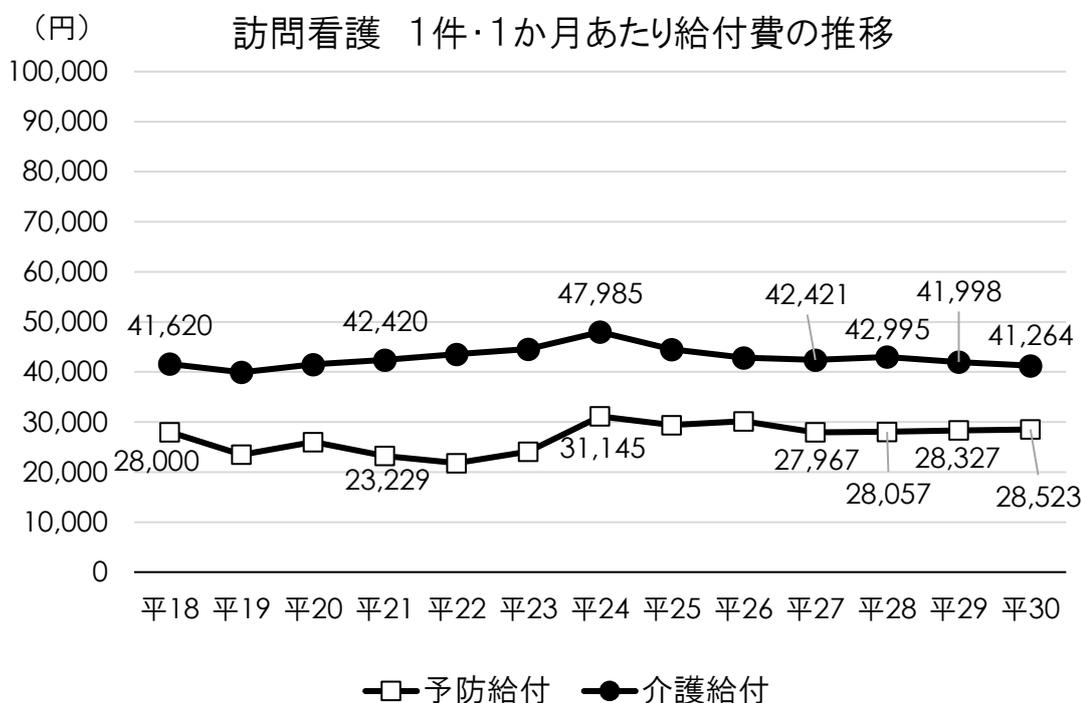
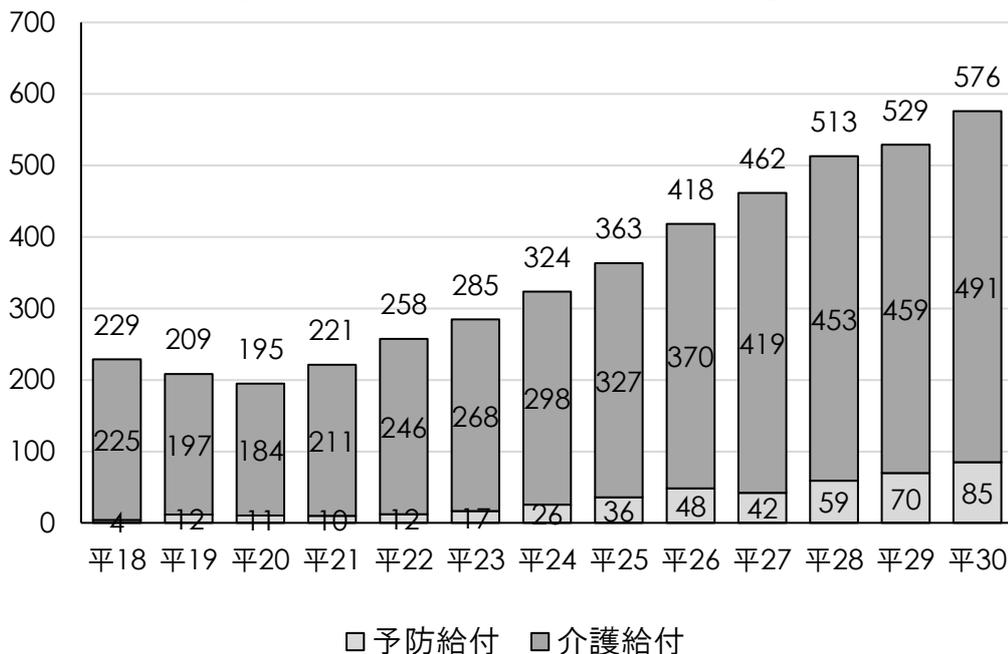
訪問入浴 給付件数の推移(月平均)



訪問看護の利用件数は、平成20年度以降、介護給付、予防給付とも増加し続けています。

1件あたり給付費については、介護給付、予防給付とも横ばいで推移しています。

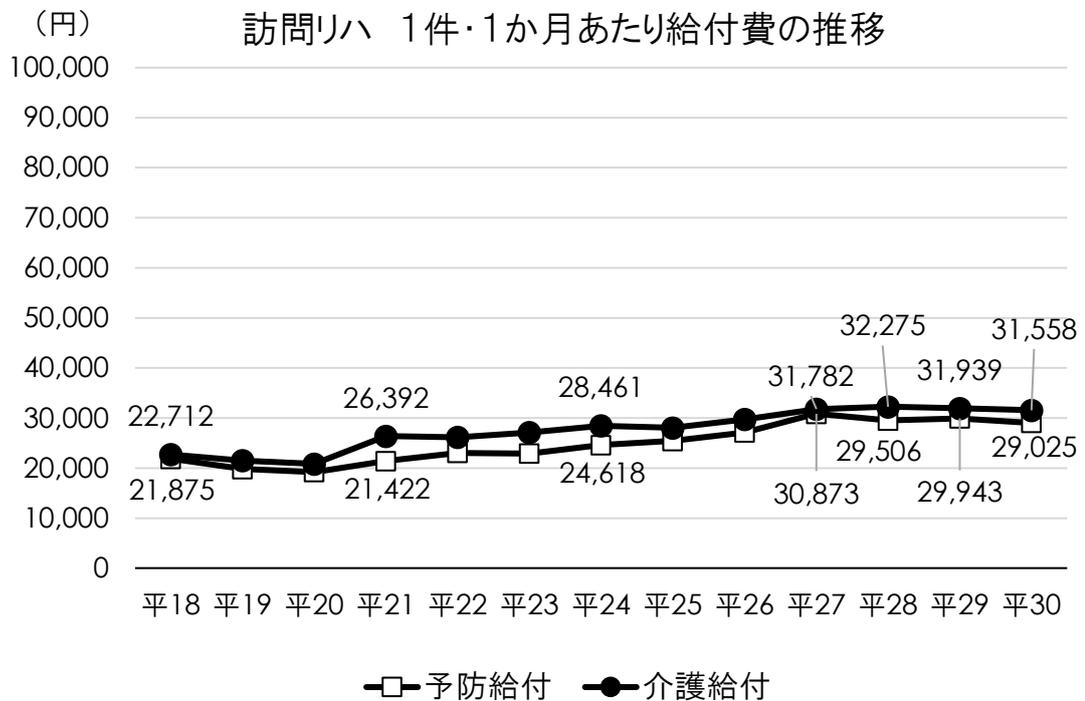
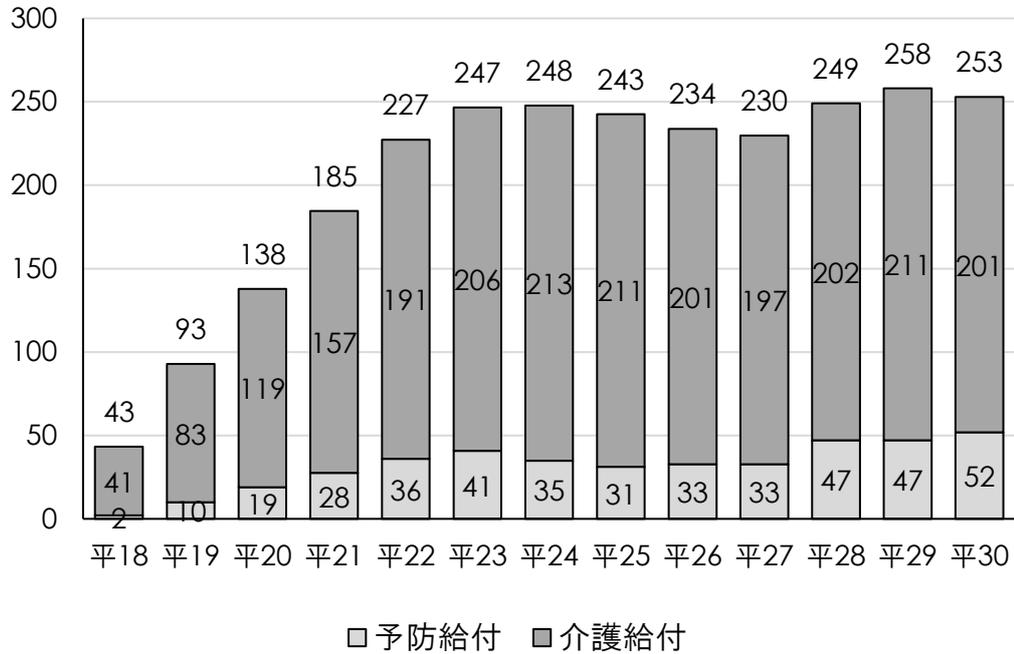
訪問看護 給付件数の推移(月平均)



訪問リハビリテーションの利用件数は、平成23年度以降、ほぼ横ばいで推移していますが、予防給付がやや増加しています。

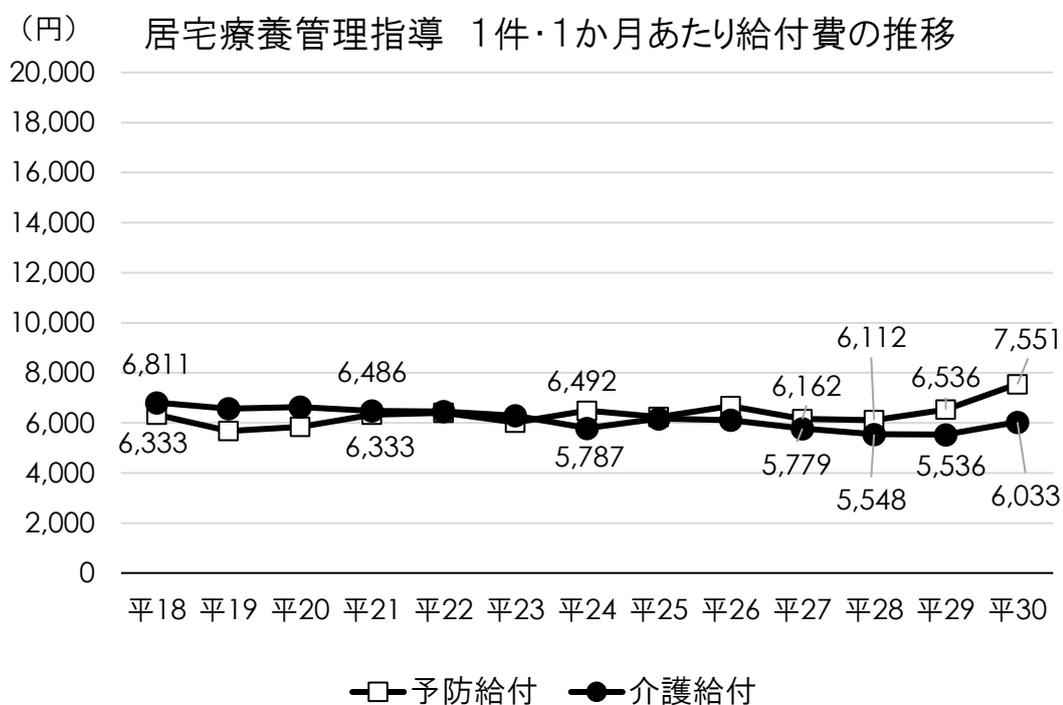
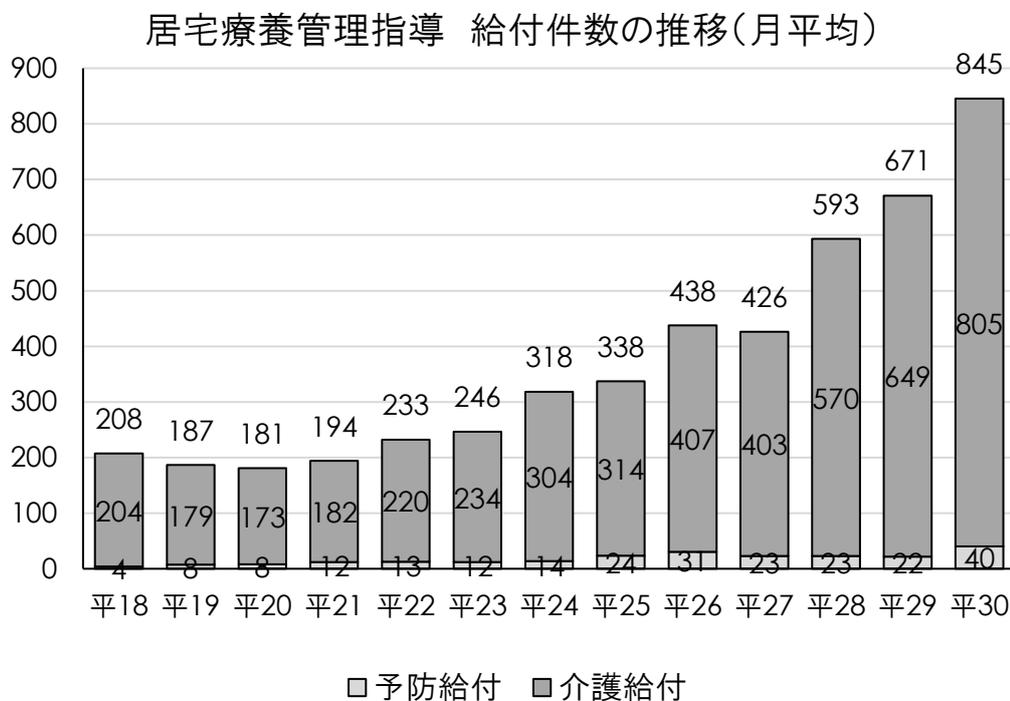
1件あたり給付費については、介護給付、予防給付とも横ばいで推移しています。

訪問リハ 給付件数の推移(月平均)



居宅療養管理指導の利用件数は、平成20年度以降、増加しており、特に近年は大きく増加しています。

1件あたり給付費については、介護給付はほぼ横ばい、予防給付は上昇傾向にあります。

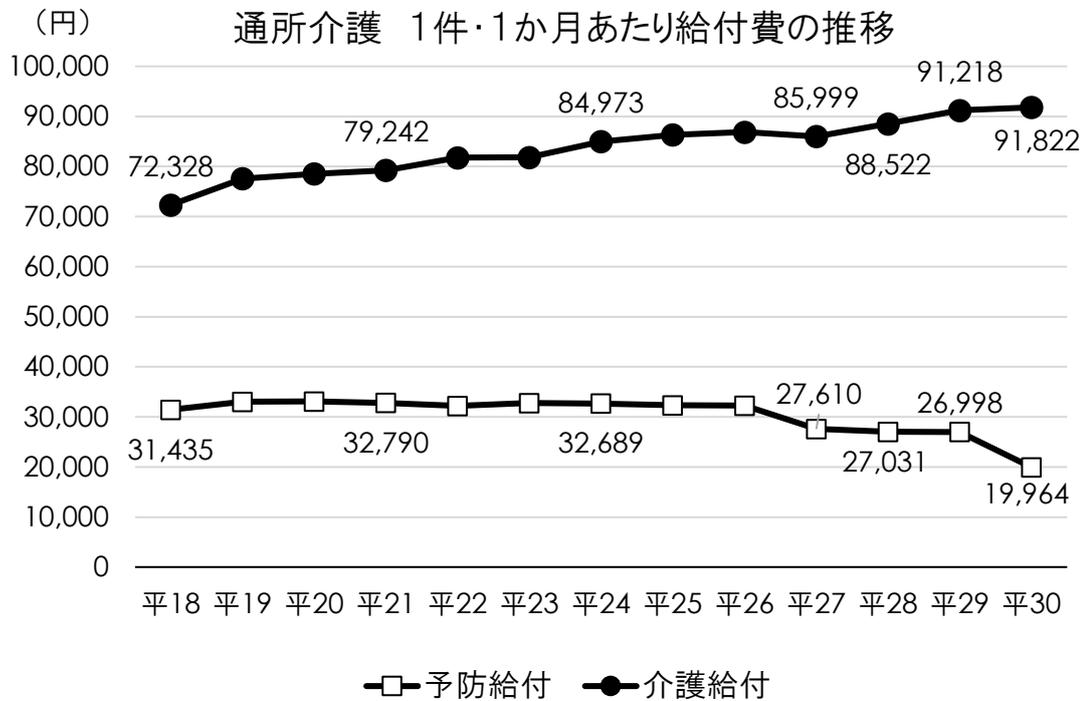
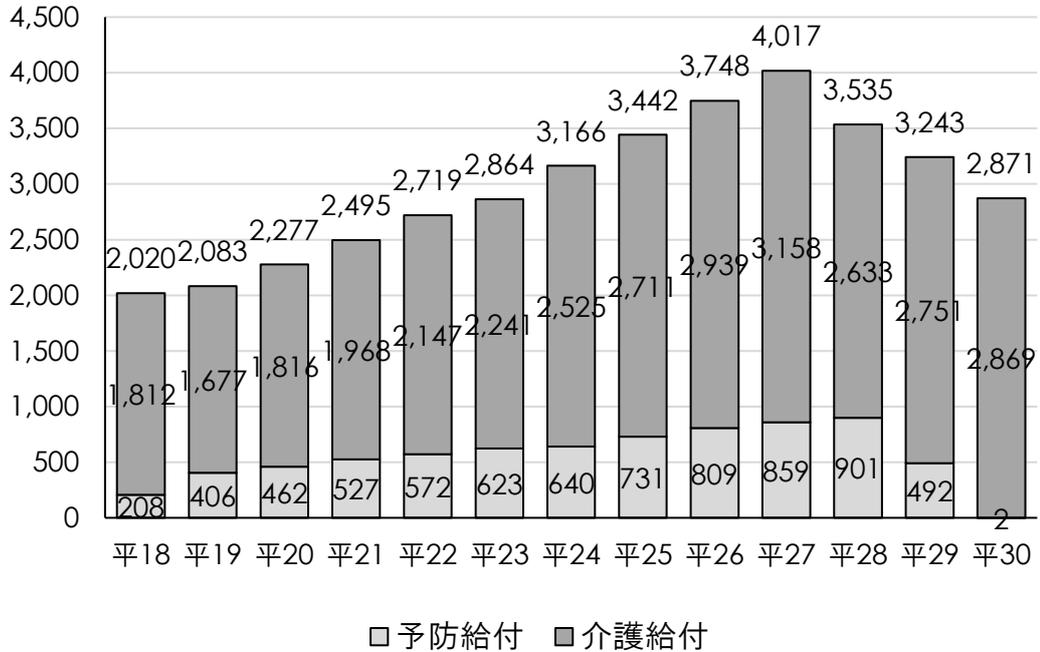


## (2) 通所系サービス

通所介護の利用件数は増加を続けてきましたが、平成28年度から小規模な事業所が地域密着型通所介護となり、平成29年度から予防給付が総合事業へ移行したため、全体件数は減少していますが、実質的には増加が続いています。

1件あたり給付費（介護給付）については、やや上昇傾向にあります。

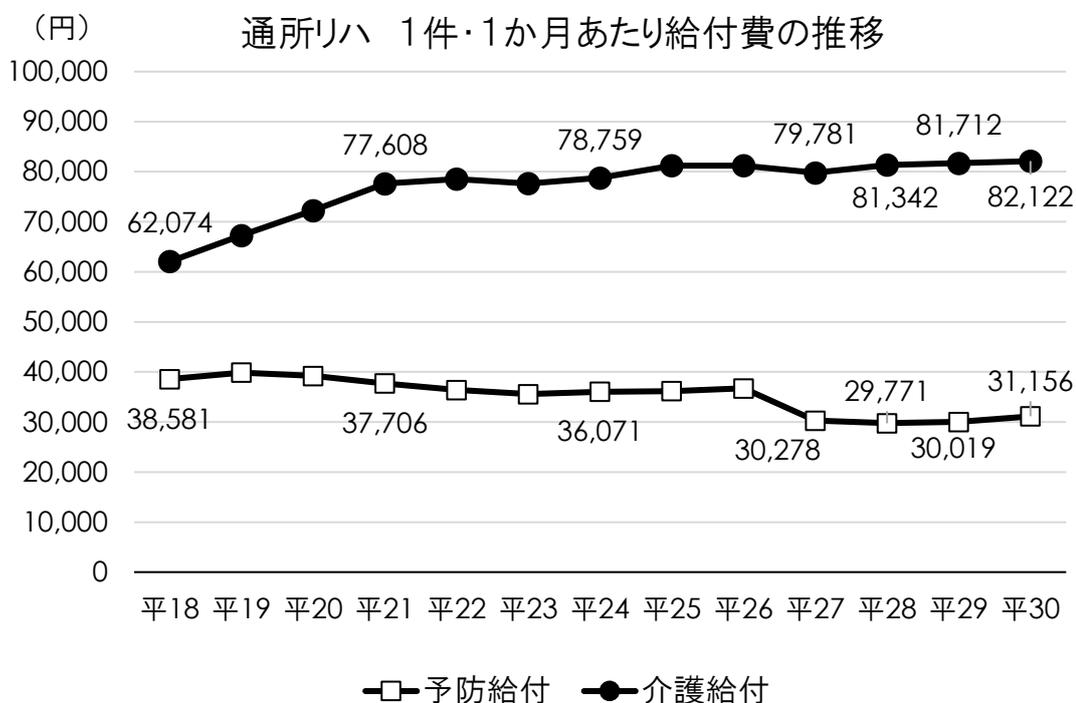
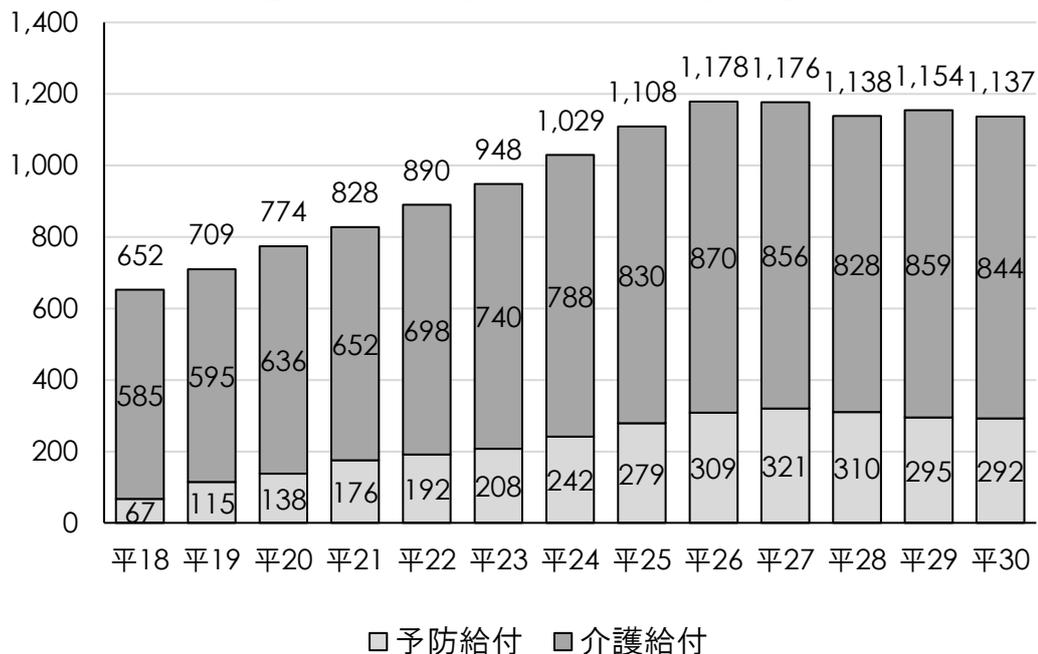
通所介護 給付件数の推移(月平均)



通所リハビリテーションの利用件数は、平成 26 年度以降、横ばい傾向となっています。

1 件あたり給付費については、介護給付、予防給付とも横ばいで推移しています。

通所リハ 給付件数の推移(月平均)

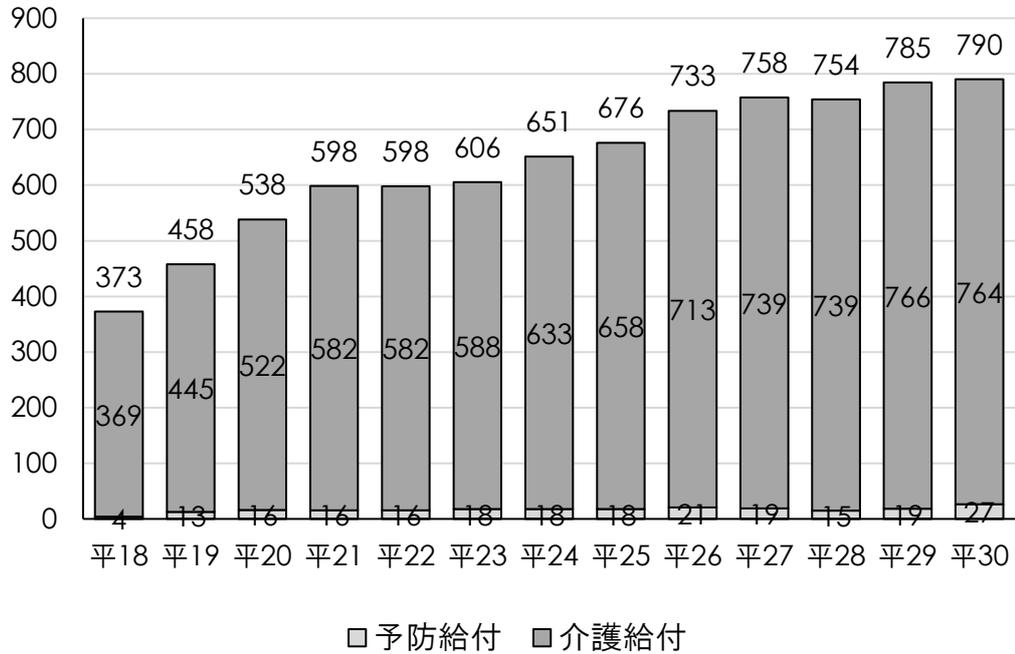


### (3) 短期入所サービス

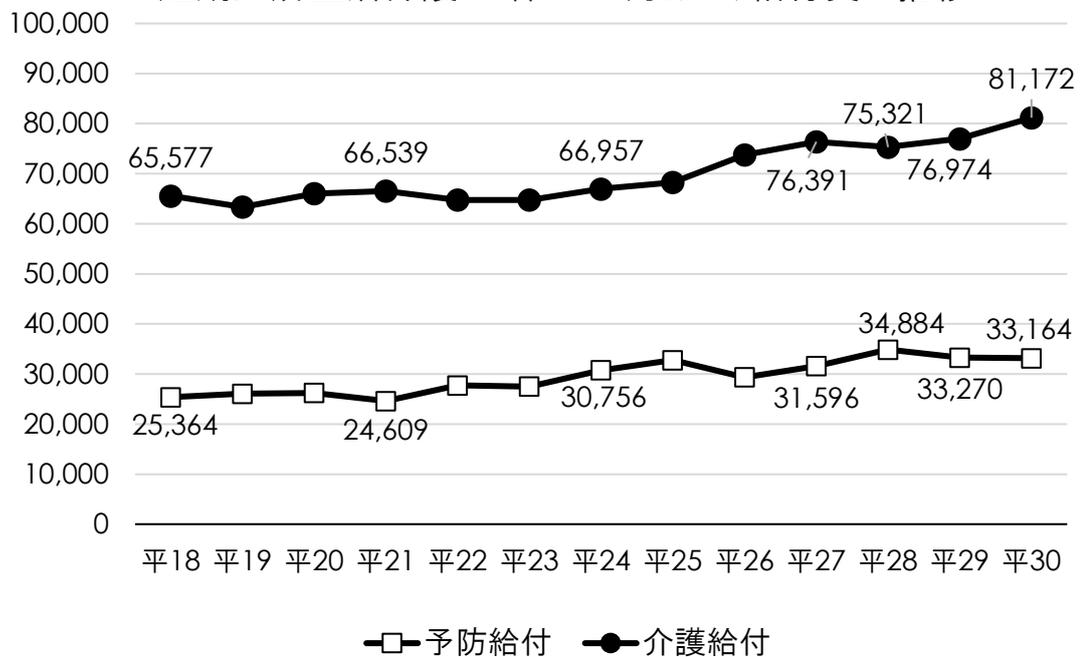
短期入所生活介護の利用件数について、介護給付は、平成23年度以降、ゆるやかに増加しています。予防給付はあまり多くなく、横ばいで推移しています。

1件あたり給付費（介護給付）については、上昇傾向にあります。

短期入所生活介護 給付件数の推移(月平均)



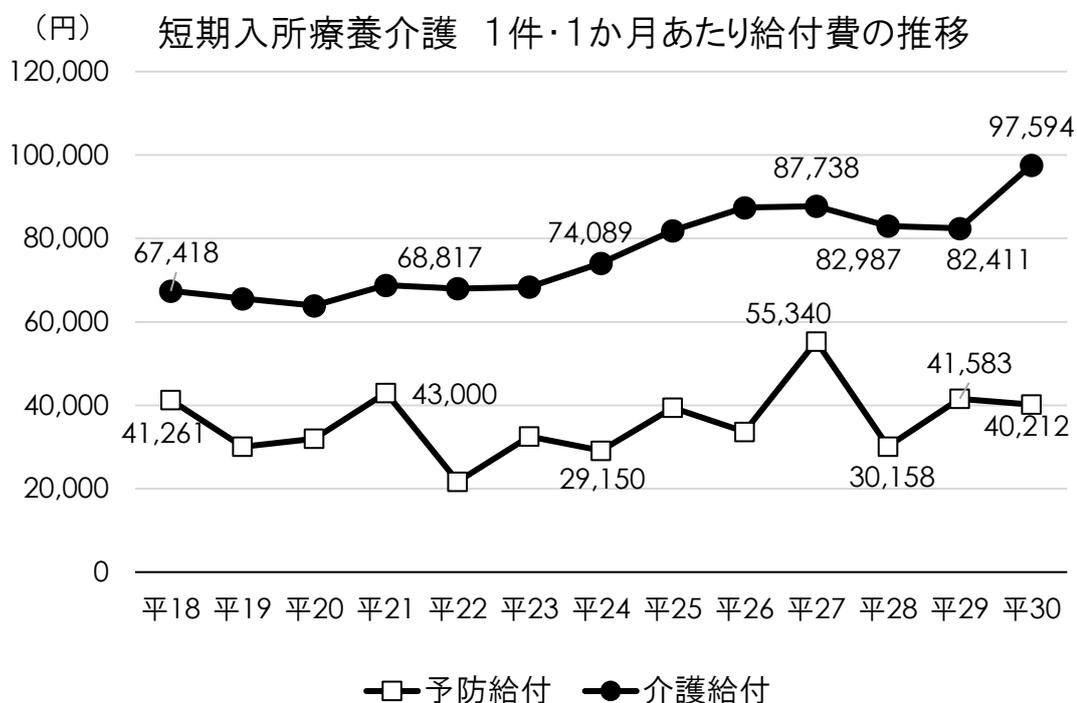
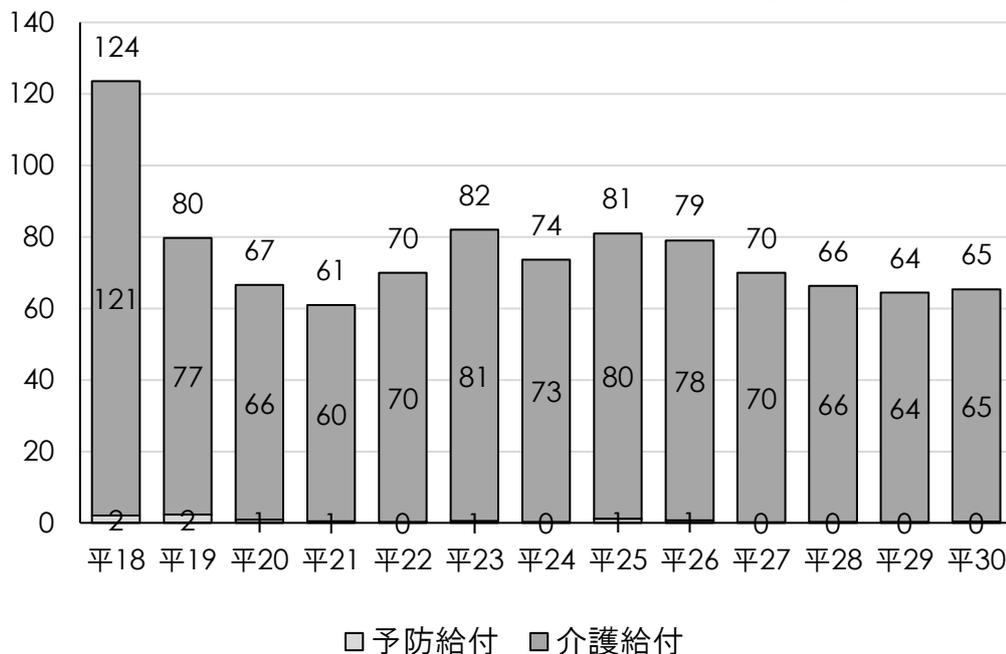
(円) 短期入所生活介護 1件・1か月あたり給付費の推移



短期入所療養介護の利用件数について、介護給付は横ばいであり、予防給付はほとんどありません。

1件あたり給付費（介護給付）については、上昇傾向にあります。

短期入所療養介護 給付件数の推移(月平均)

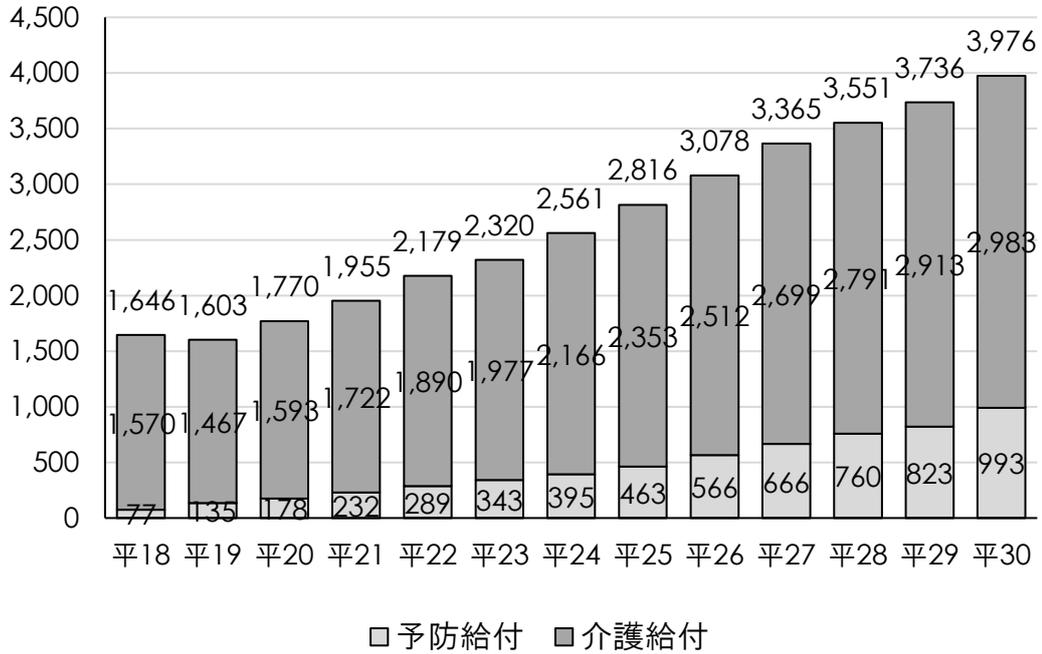


#### (4) その他の居宅サービス

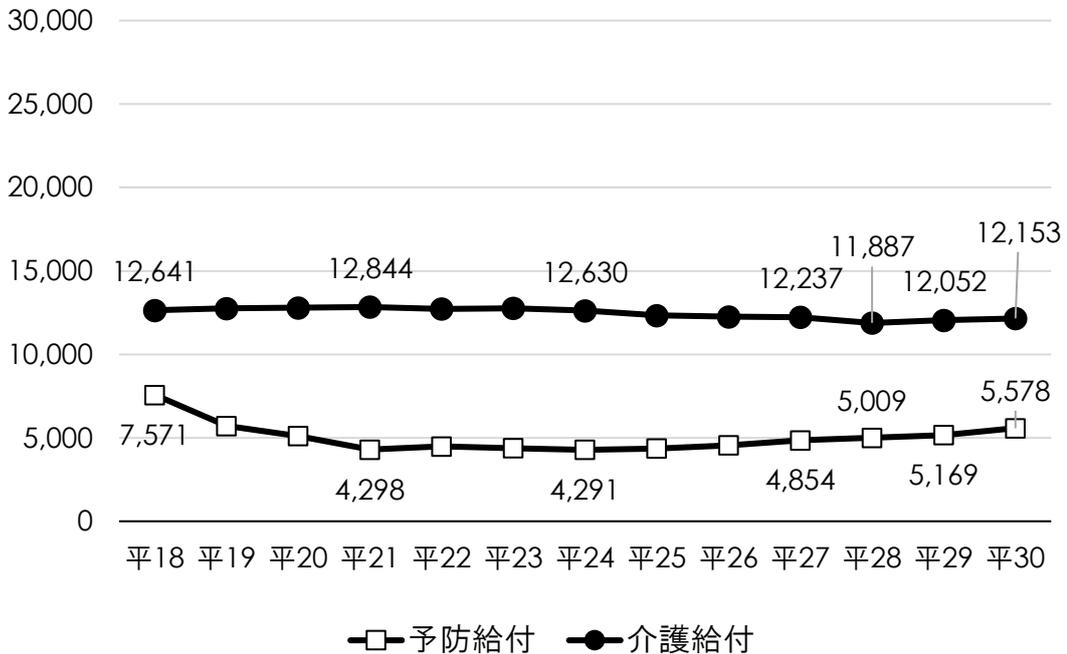
福祉用具貸与の利用件数は、平成19年度以降、増加し続けています。

1件あたり給付費については、介護給付は横ばい、予防給付はやや上昇しています。

福祉用具貸与 給付件数の推移(月平均)



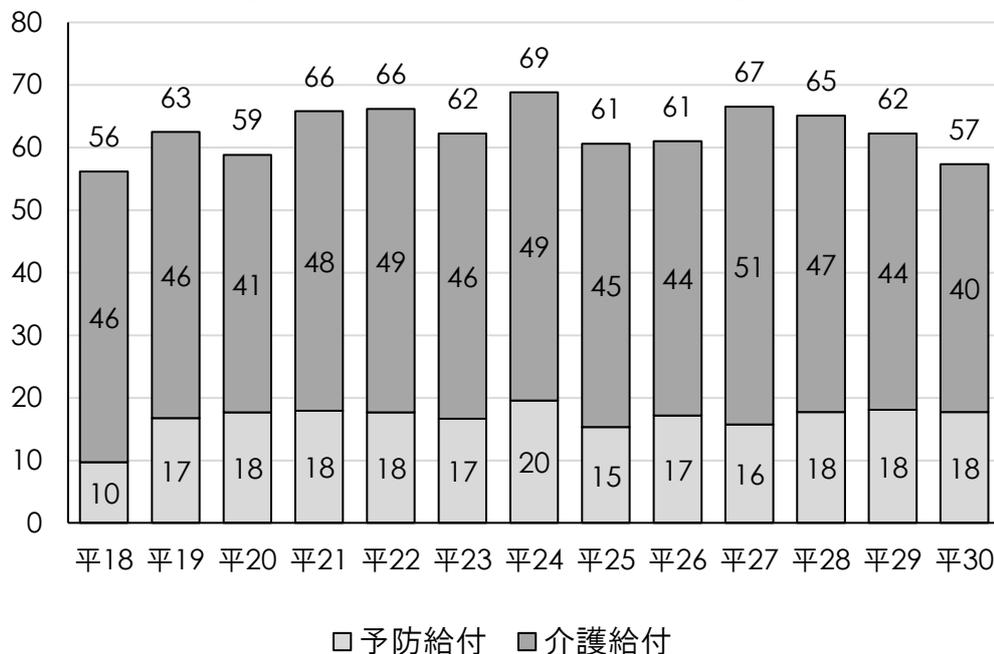
(円) 福祉用具貸与 1件・1か月あたり給付費の推移



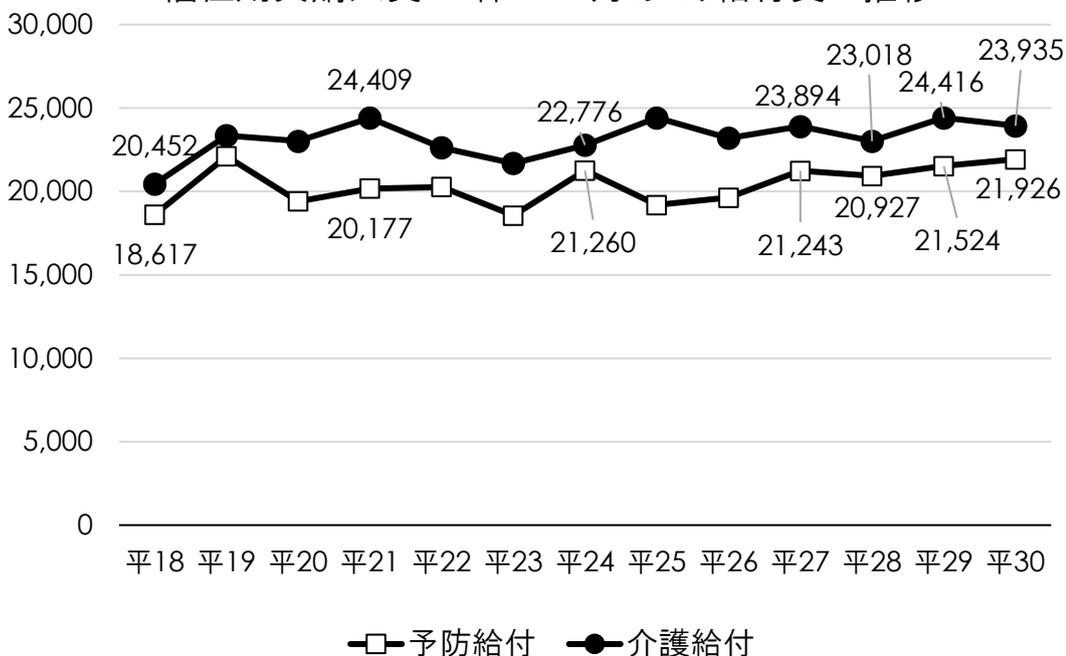
福祉用具購入費の利用件数は、介護給付はやや減少し、予防給付は横ばいで推移しています。

1件あたり給付費については、介護給付は横ばい、予防給付はやや上昇しています。

福祉用具購入費 給付件数の推移(月平均)



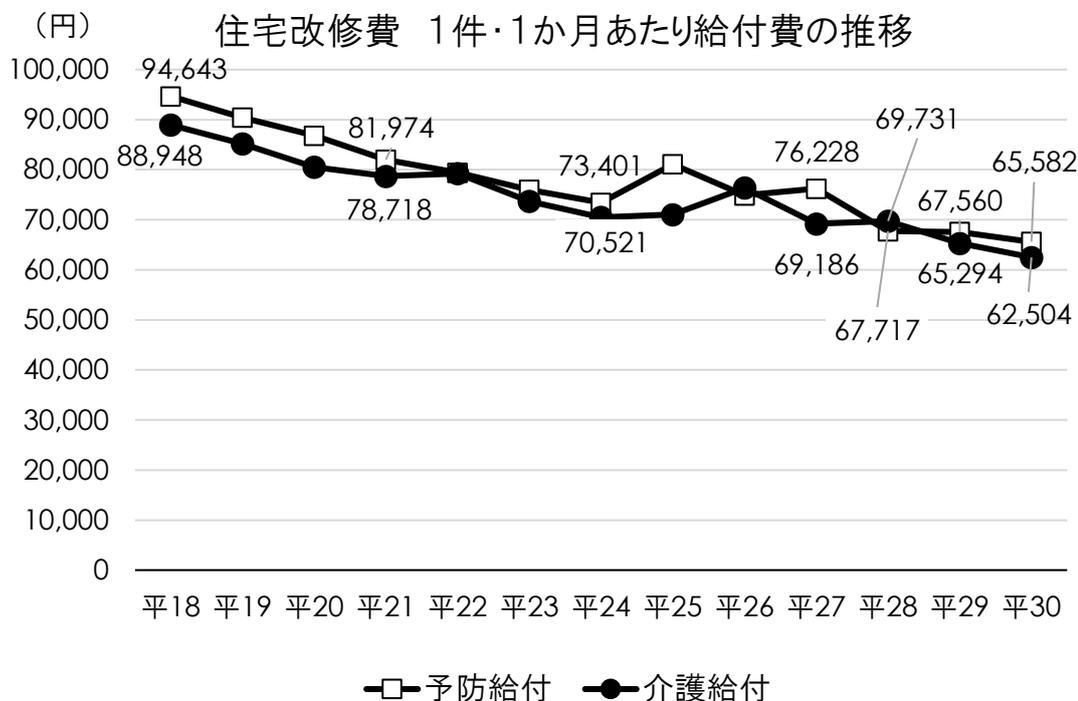
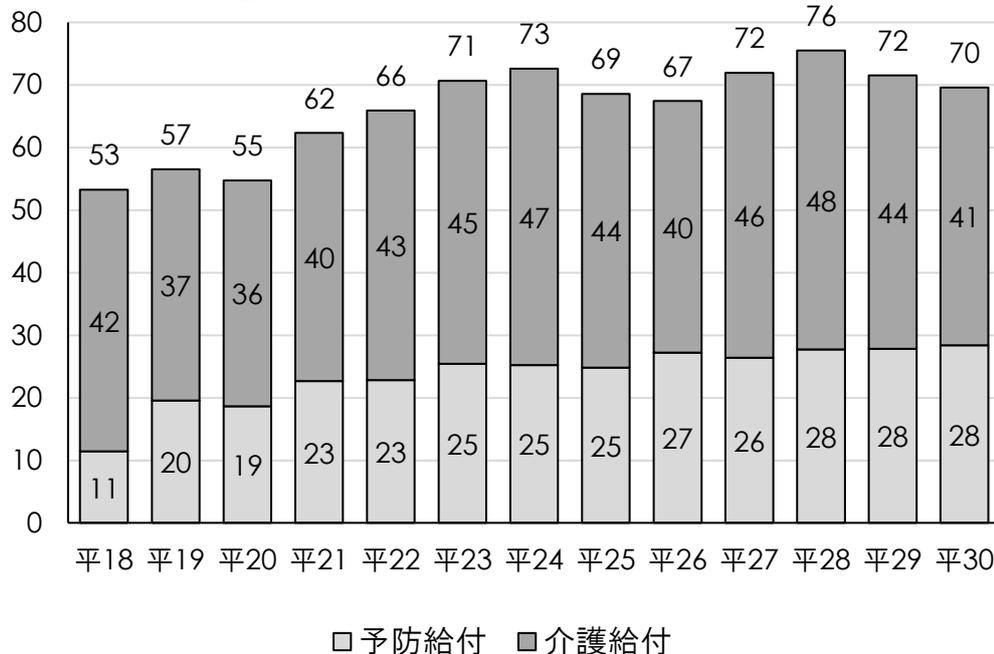
福祉用具購入費 1件・1か月あたり給付費の推移



住宅改修費の利用件数は、介護給付はやや減少し、予防給付は横ばいで推移しています。

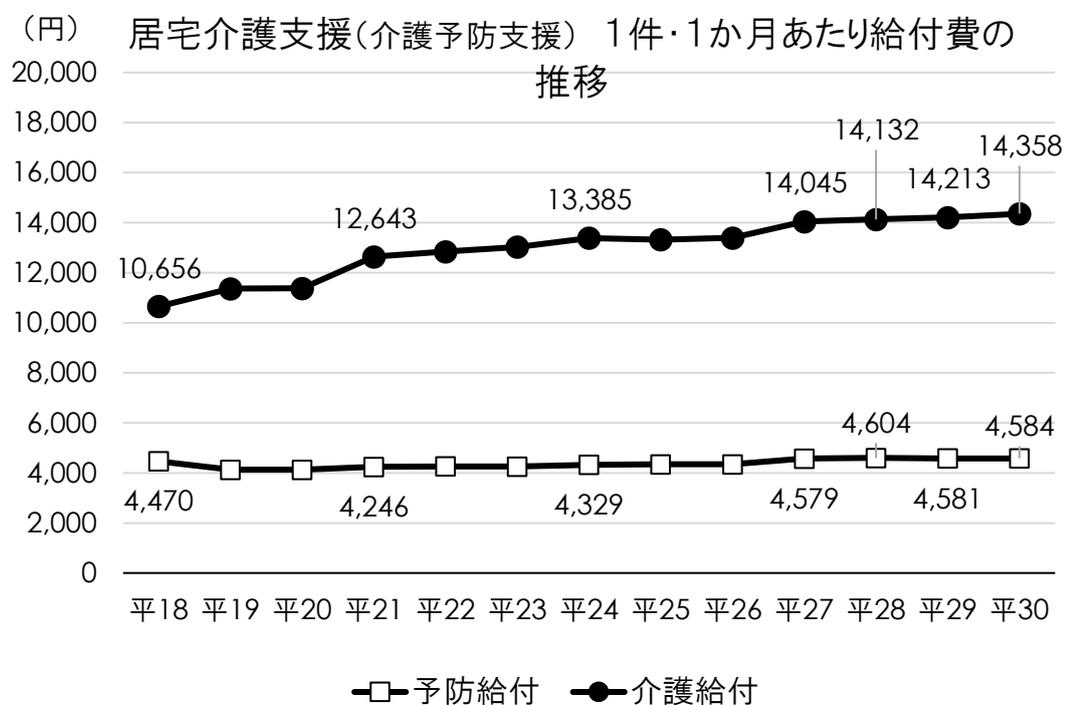
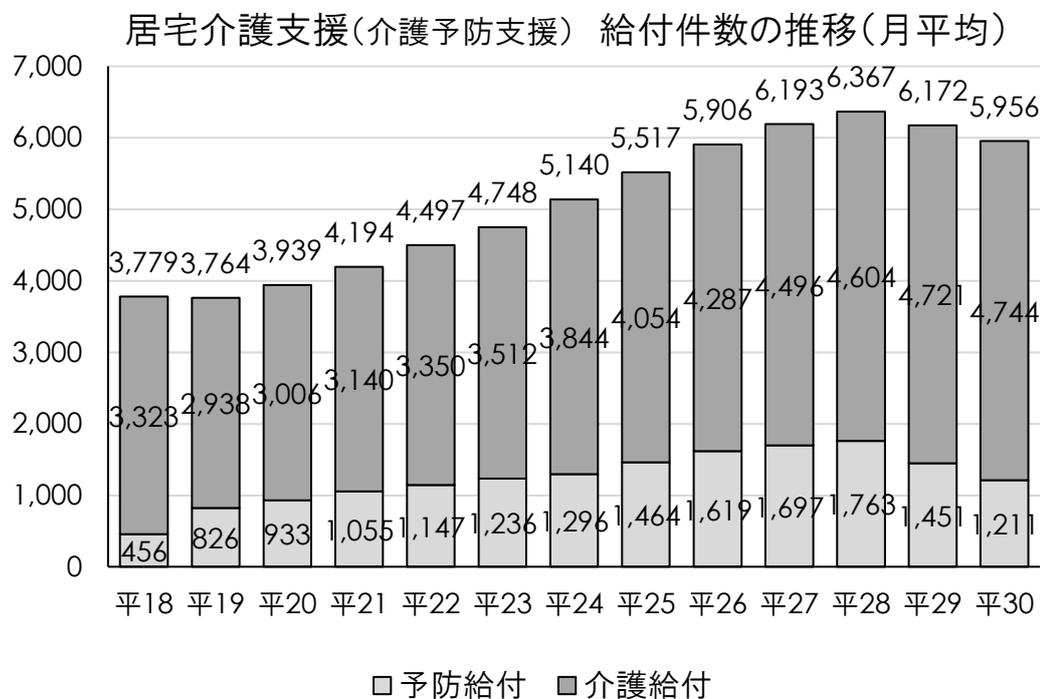
1件あたり給付費については、介護給付、予防給付とも低下傾向にあります。

住宅改修費 給付件数の推移(月平均)



居宅介護支援（介護予防支援）の利用件数について、居宅介護支援は増加し続けており、介護予防支援は平成 28 年度以降、減少しています。

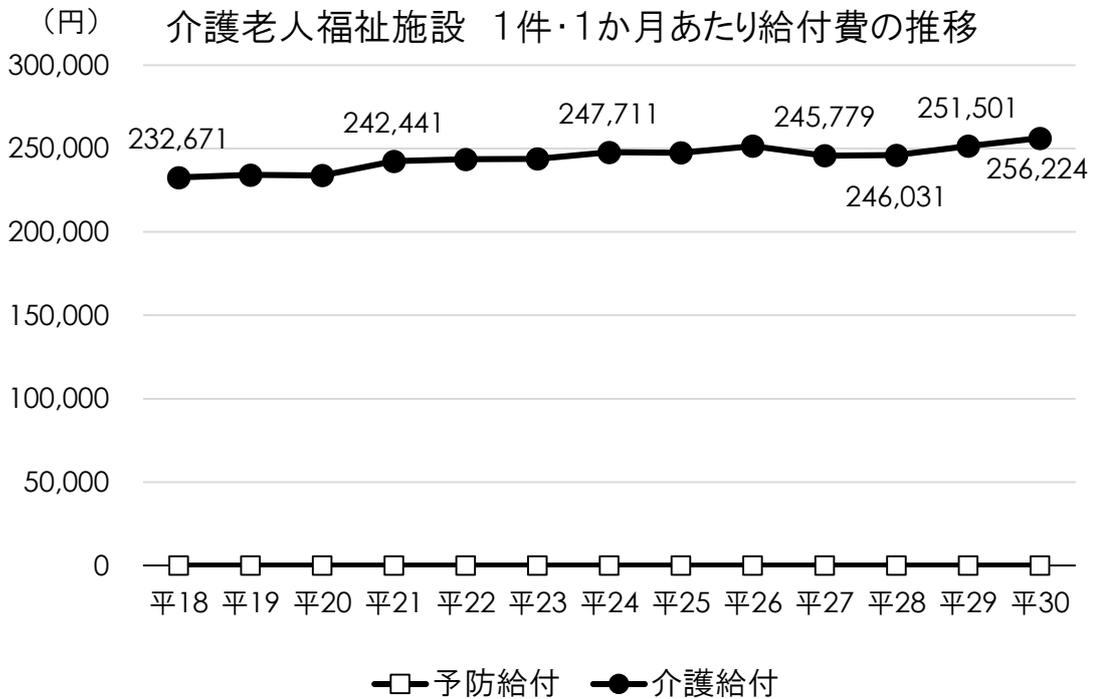
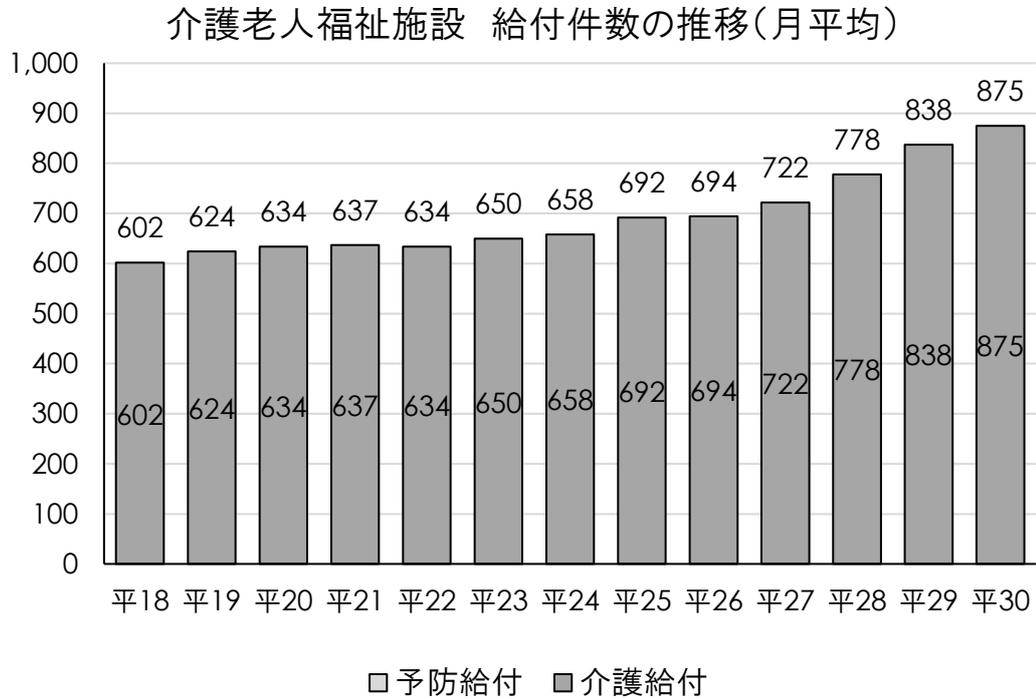
1 件あたり給付費については、居宅介護支援はやや上昇し、介護予防支援は横ばいとなっています。



(5) 施設・居住系サービス

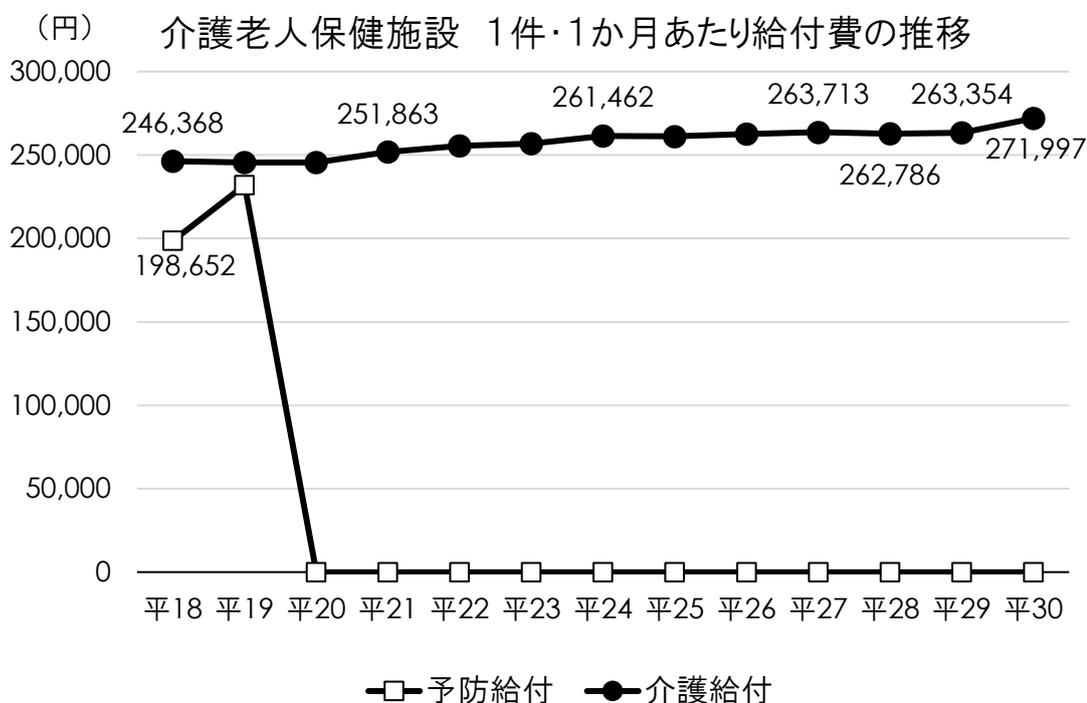
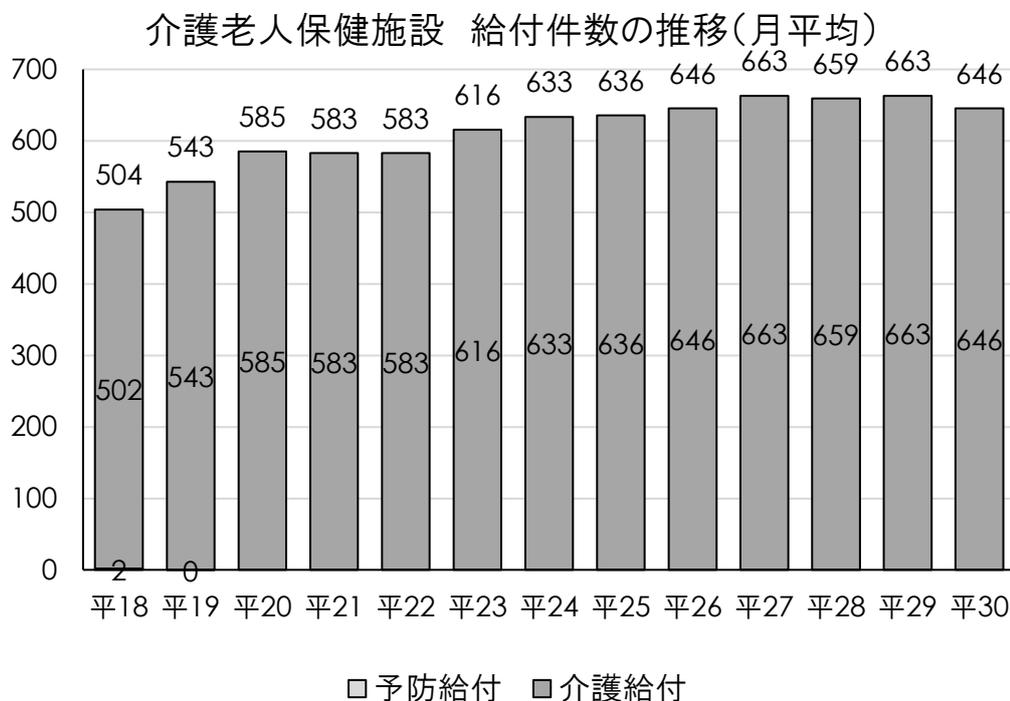
介護老人福祉施設の利用件数は段階的に増加してきましたが、特に平成27年度から29年度にかけては、年間約60件ずつ増加しました。

1件あたり給付費については、やや上昇傾向にあります。



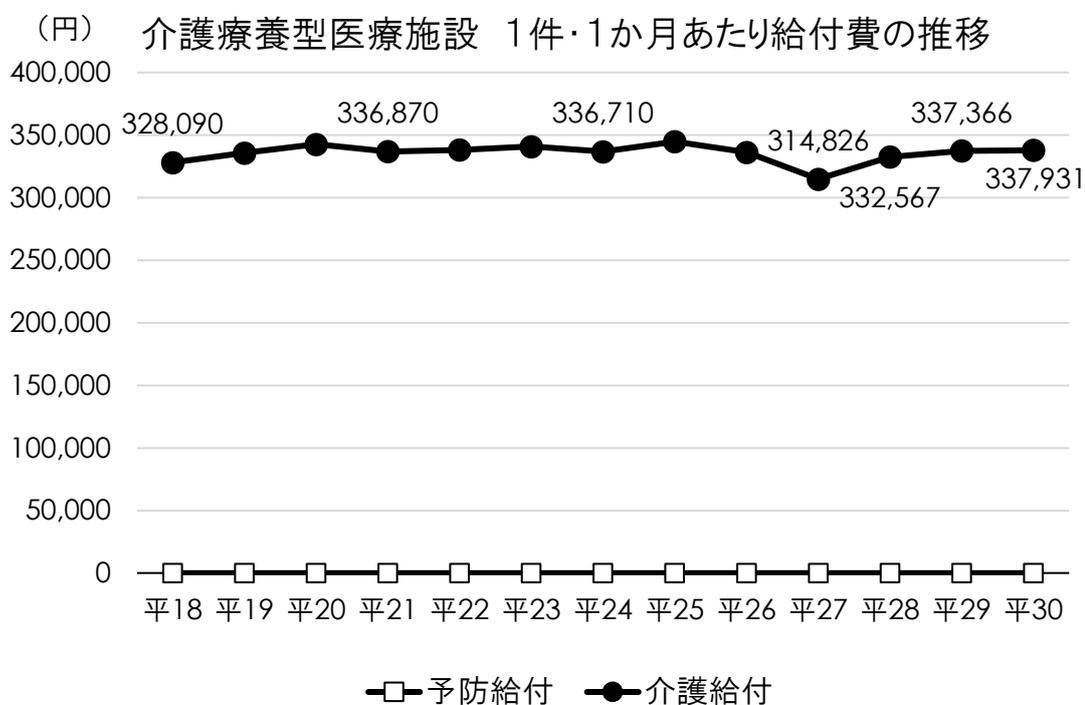
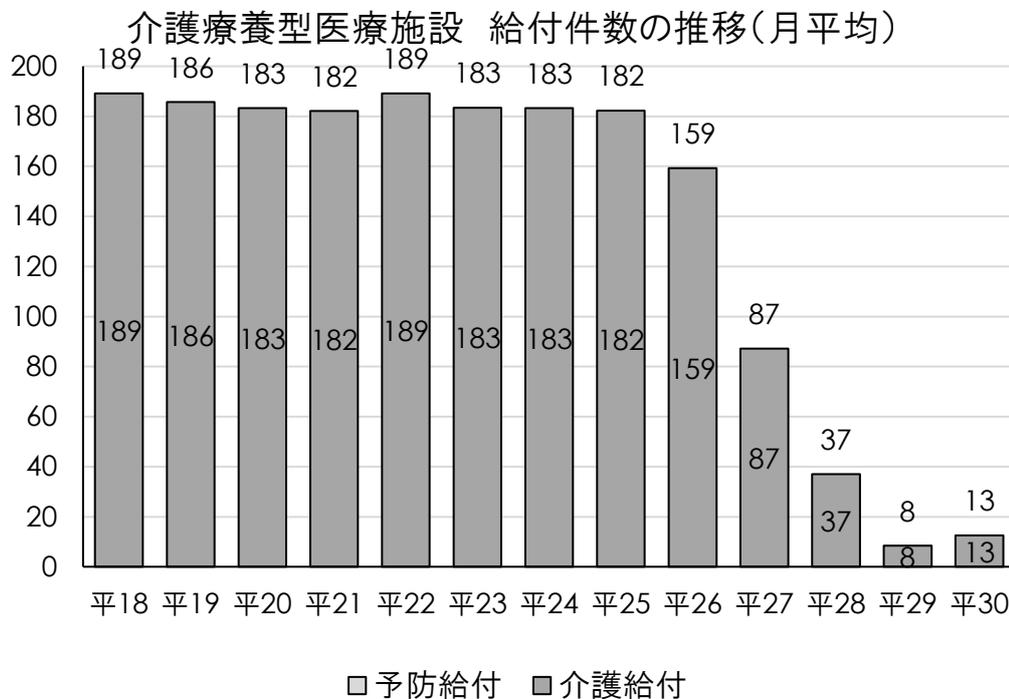
介護老人保健施設の利用件数はゆるやかに増加してきましたが、平成 29 年度から 30 年度にかけてやや減少しました。

1 件あたり給付費については、やや上昇傾向にあります。



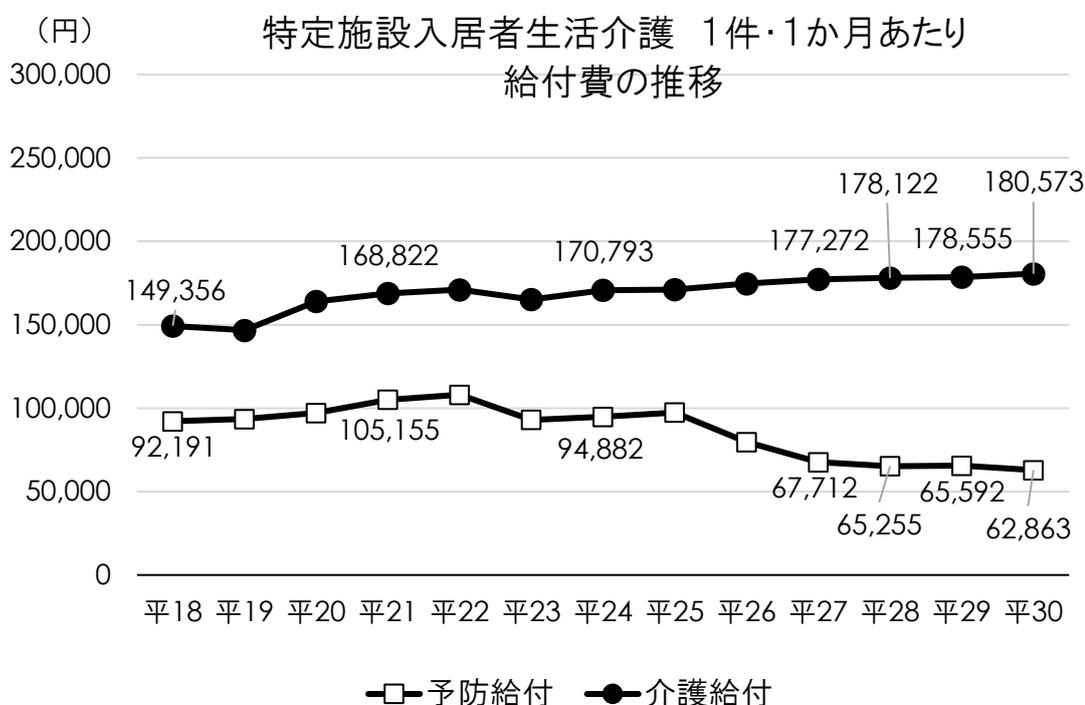
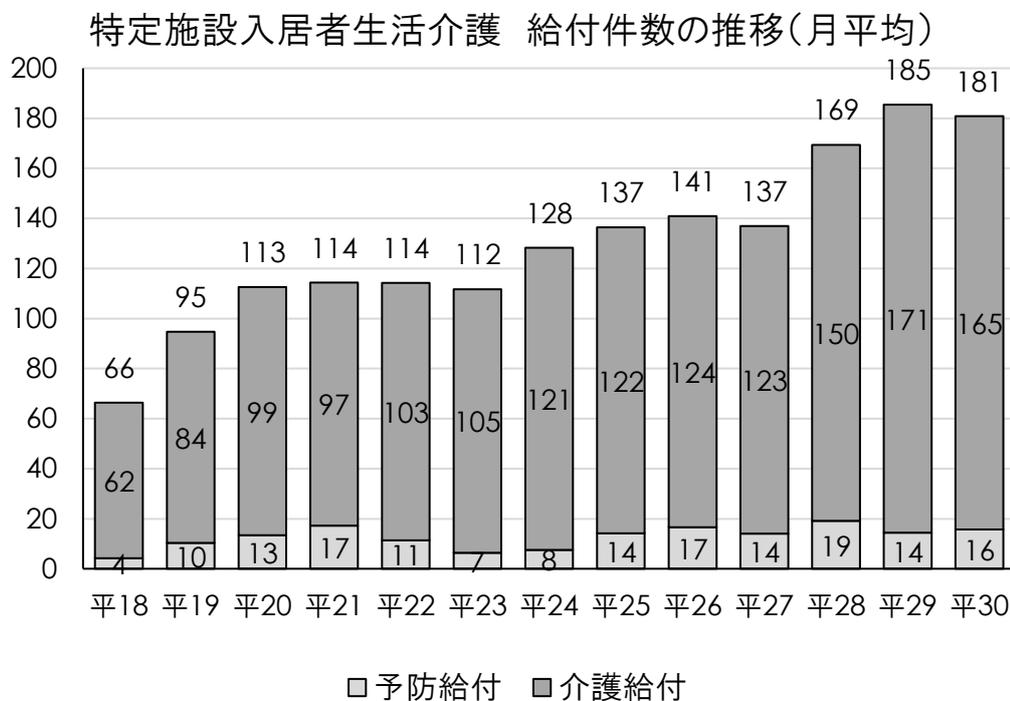
介護療養型医療施設（介護医療院を含む）の利用件数は、平成 25 年度から 29 年度にかけて大きく減少しました。平成 29 年度から 30 年度にかけては、介護医療院の利用件数 5 件が加わっています。

1 件あたり給付費については、ほぼ横ばいで推移しています。



特定施設入居者生活介護の利用件数は、平成 27 年度から 29 年度にかけて、介護給付が大きく増加しました。

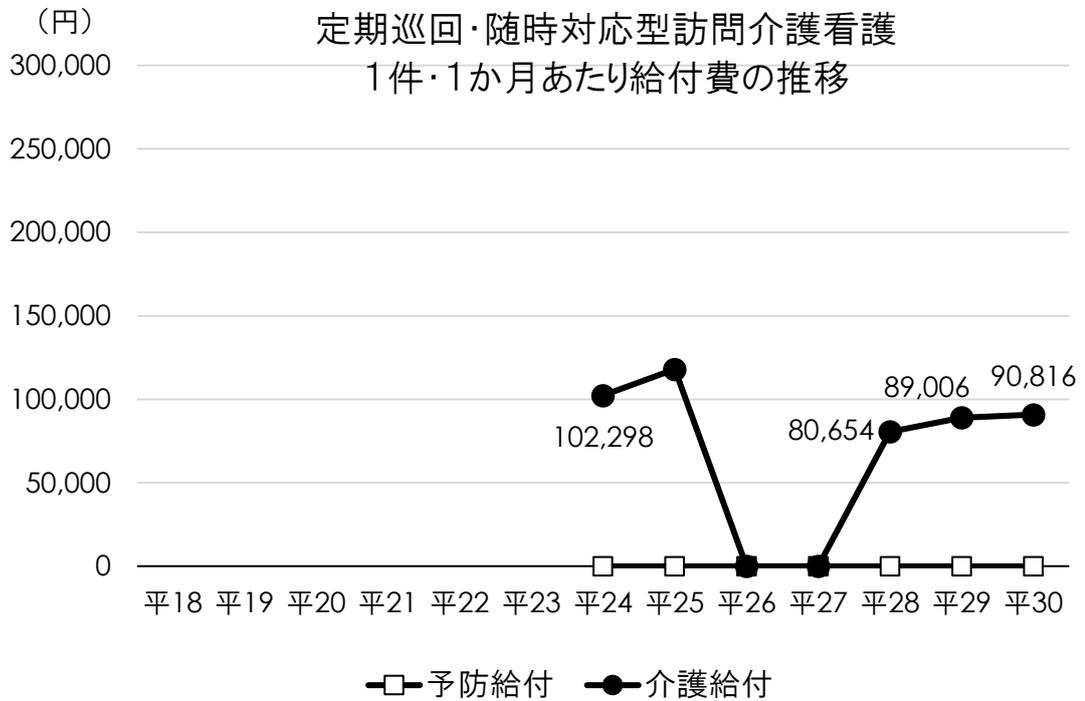
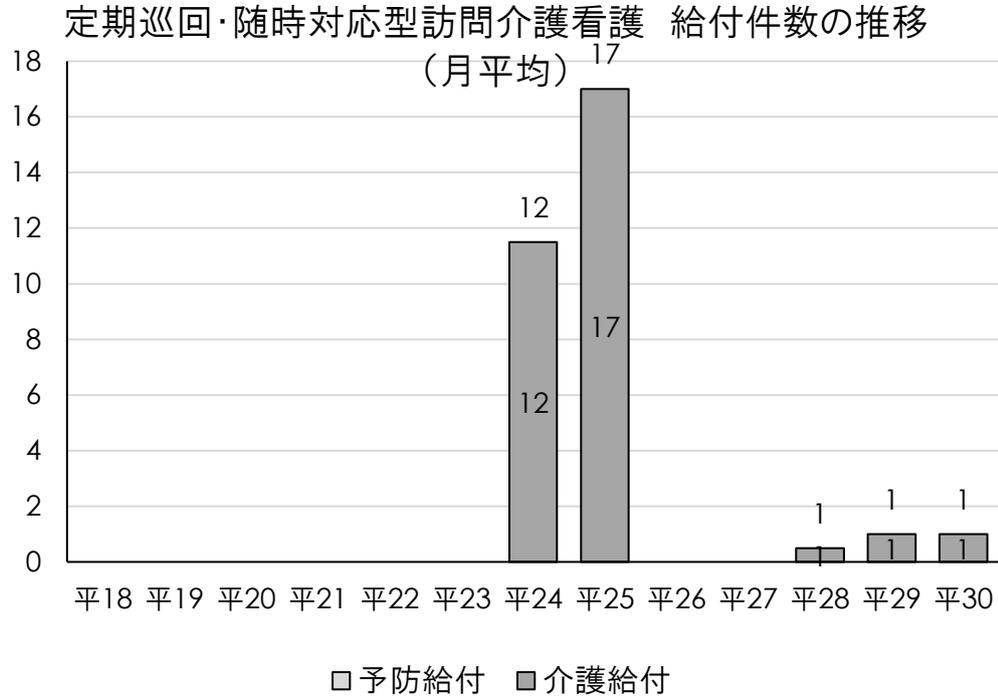
1 件あたり給付費については、介護給付については緩やかに上昇、予防給付はゆるやかに低下しています。



(6) 地域密着型サービス

定期巡回・随時対応型訪問介護看護の利用件数はわずかとなっており、1件あたり給付費についてはほぼ横ばいとなっています。

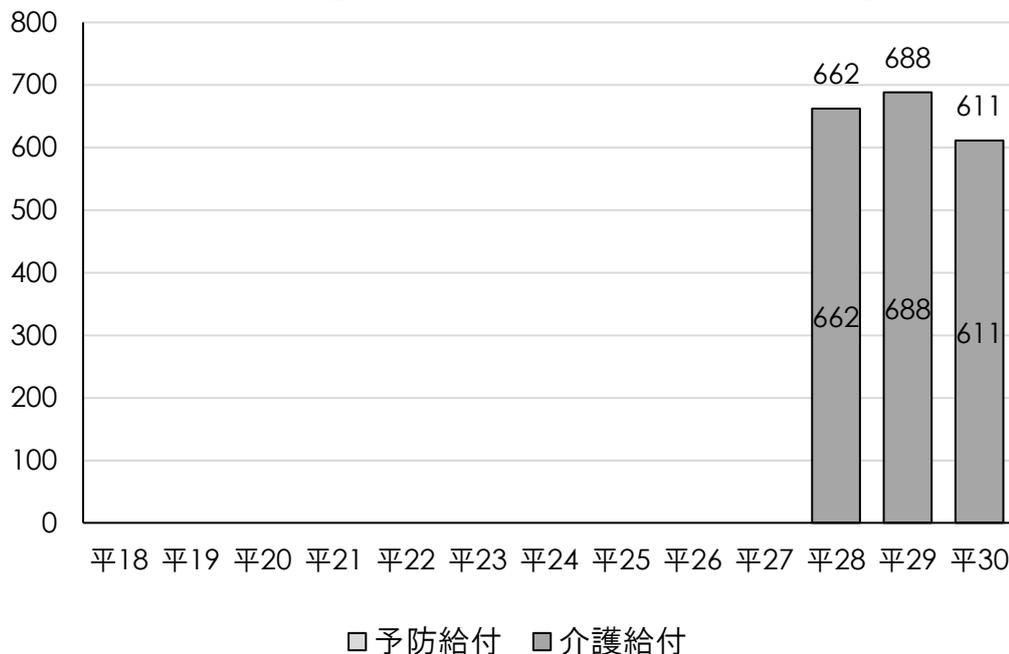
なお、夜間対応型訪問介護の利用はありません。



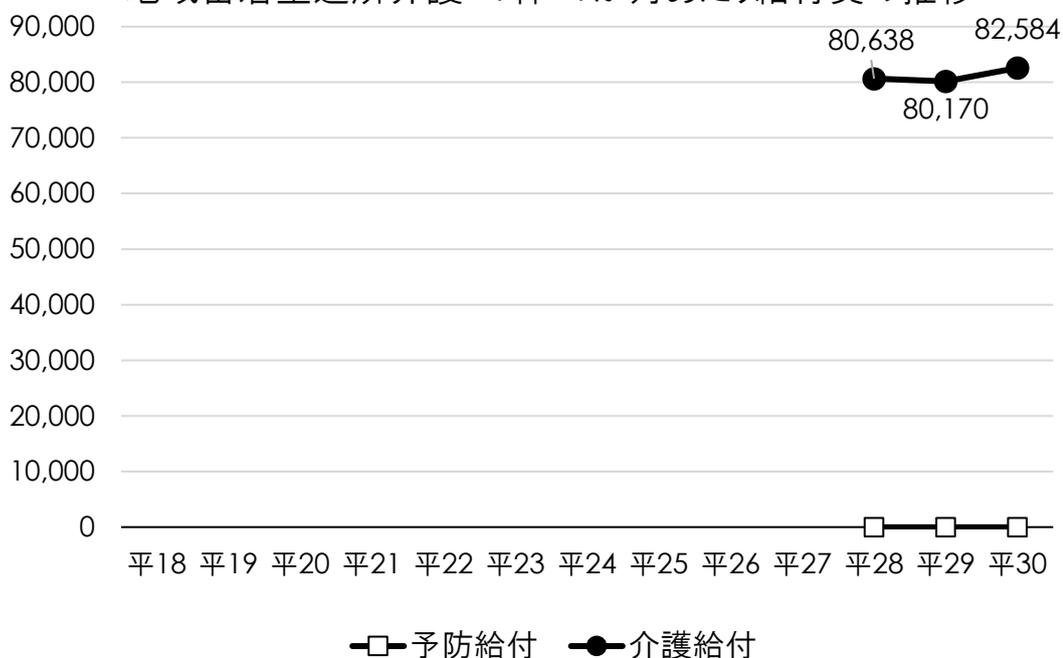
小規模な事業所が通所介護サービスから移行した地域密着型通所介護については、平成 28 年度から 29 年度かけて増加し、再び平成 30 年度には減少しています。

1 件あたり給付費については、ほぼ横ばいとなっています。

地域密着型通所介護 給付件数の推移(月平均)



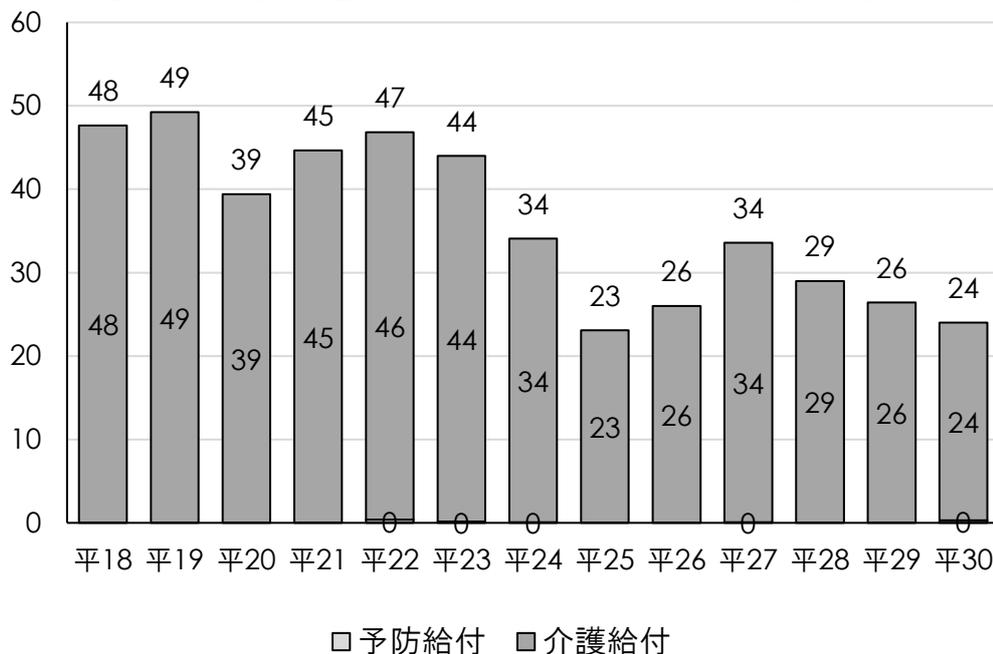
(円) 地域密着型通所介護 1 件・1 か月あたり給付費の推移



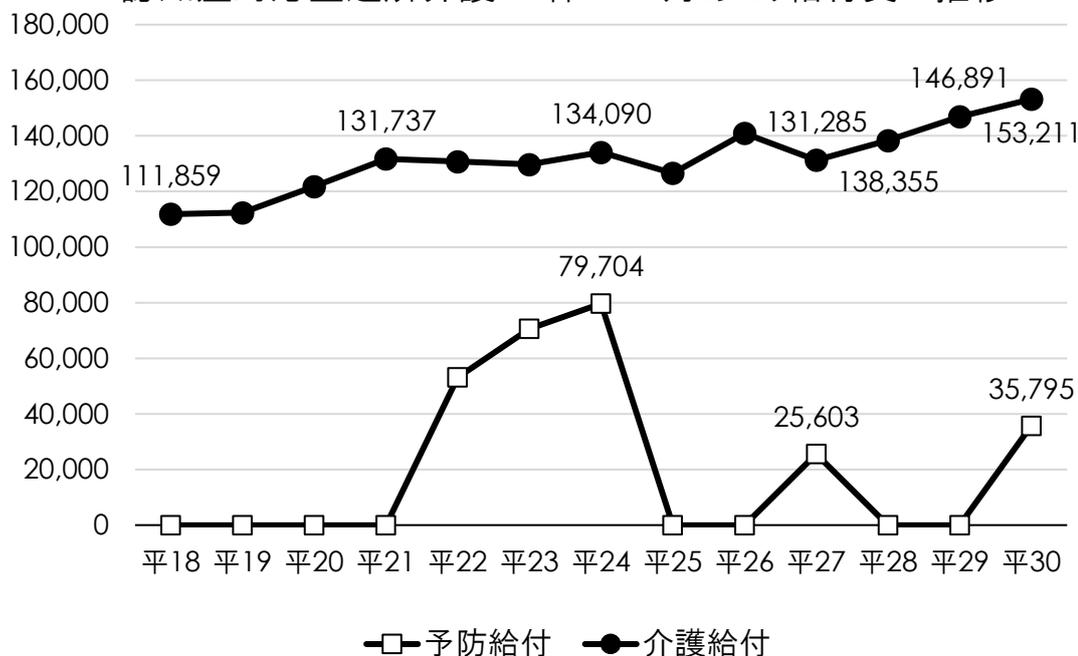
認知症対応型通所介護の利用件数は、平成 27 年度以降、介護給付は減少傾向にあります。予防給付はほとんどありません。

1 件あたり給付費（介護給付）については、上昇傾向にあります。

認知症対応型通所介護 給付件数の推移(月平均)

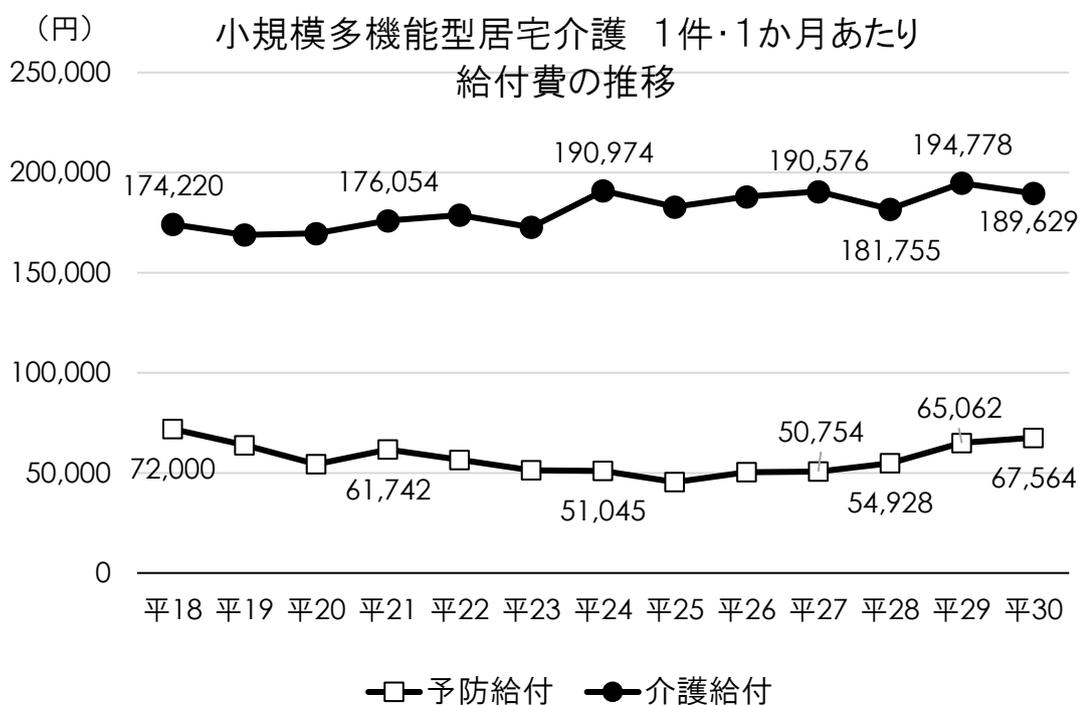
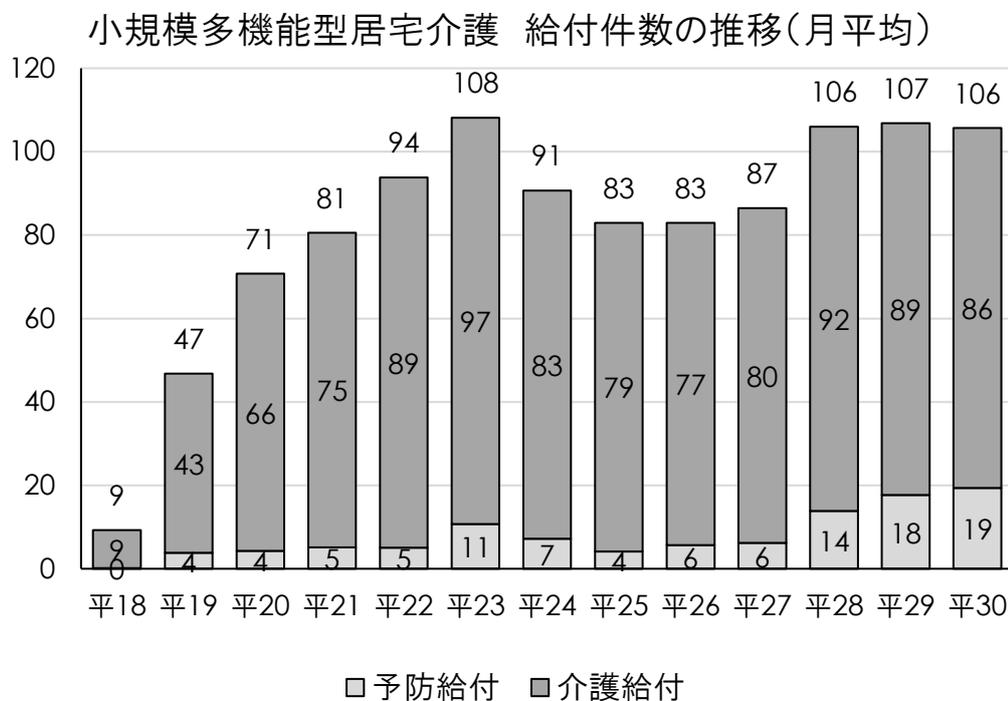


(円) 認知症対応型通所介護 1件・1か月あたり給付費の推移



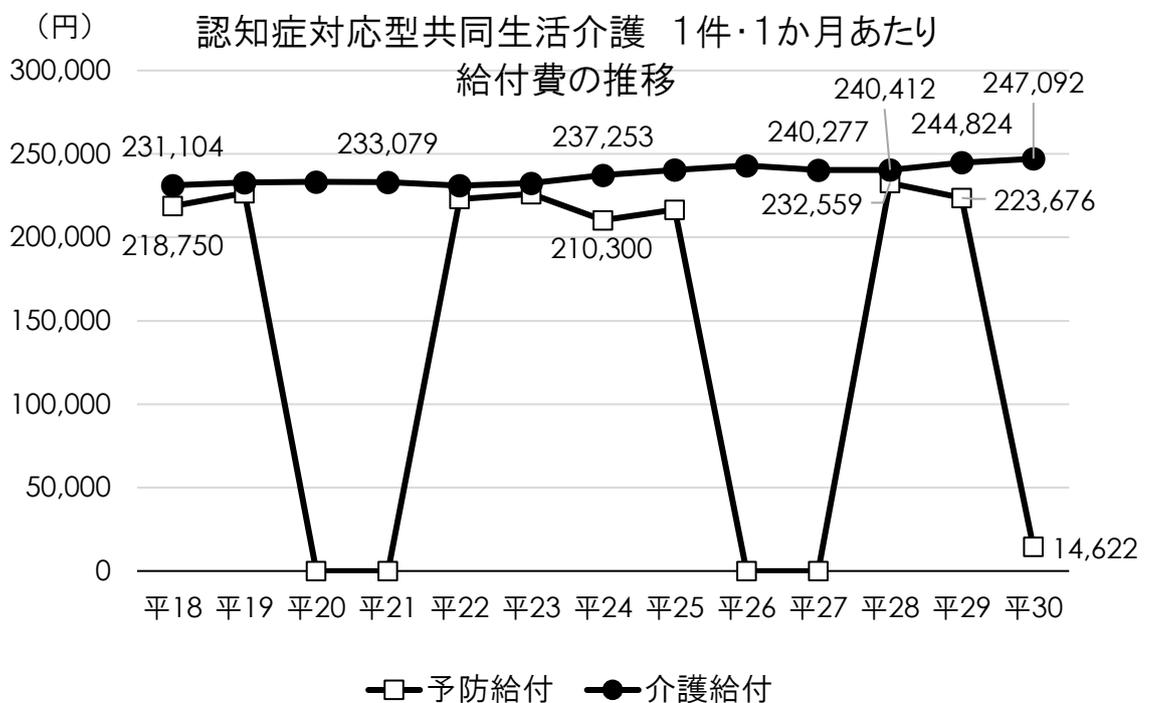
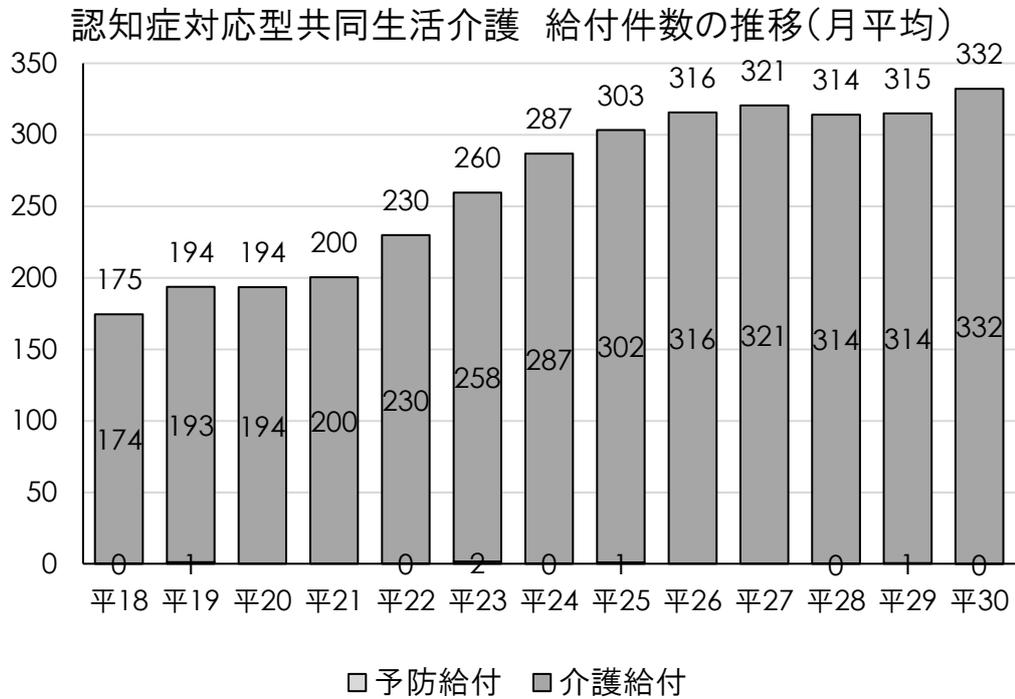
小規模多機能型居宅介護の利用件数は、平成 27 年度から 28 年度にかけて増加しましたが、以降は横ばいで推移しています。予防給付がやや増加しています。

1 件あたり給付費については、介護給付については横ばい傾向にあり、予防給付はやや上昇しています。



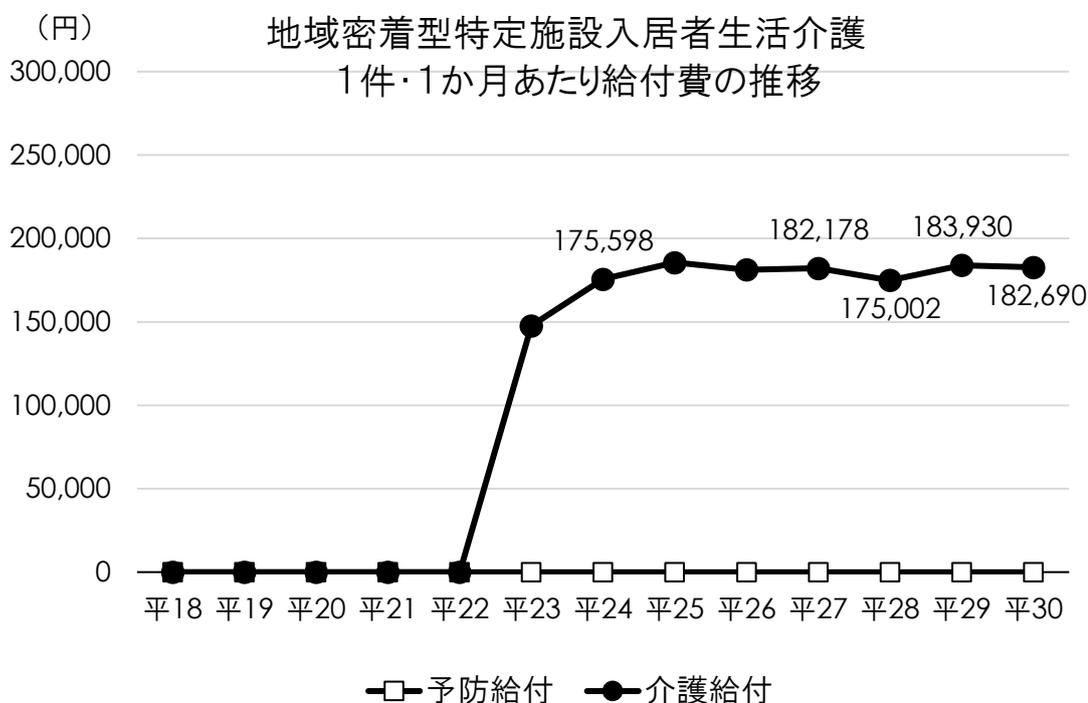
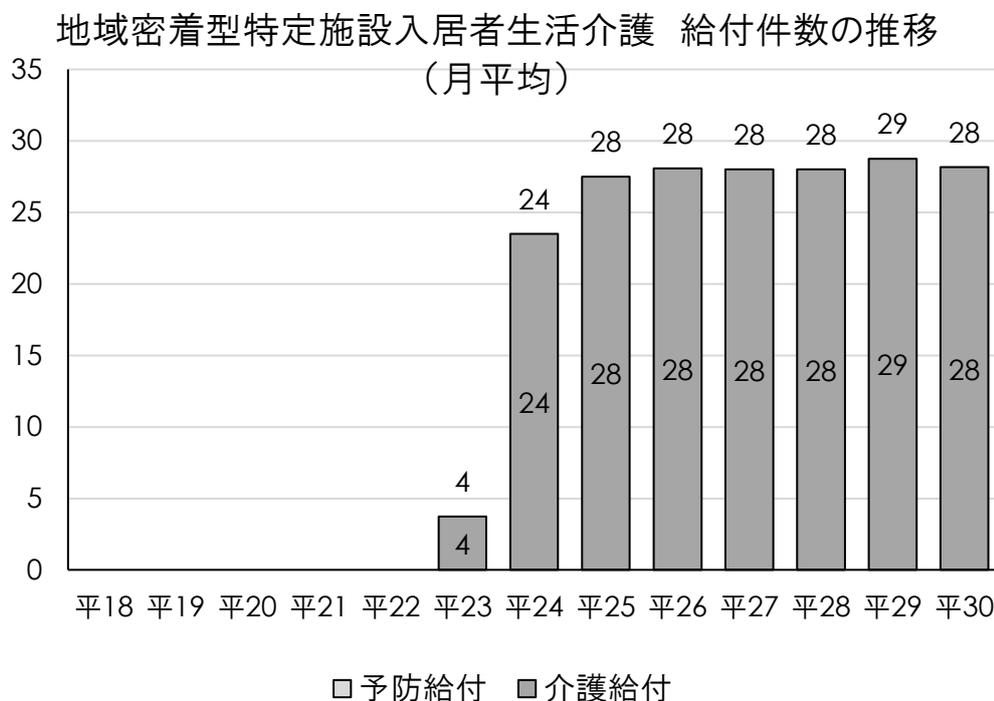
認知症対応型共同生活介護の利用件数は、平成26年度以降、横ばいで推移してきましたが、平成29年度から30年度にかけて増加しました。予防給付はほとんどありません。

1件あたり給付費（介護給付）については、ゆるやかに上昇しています。



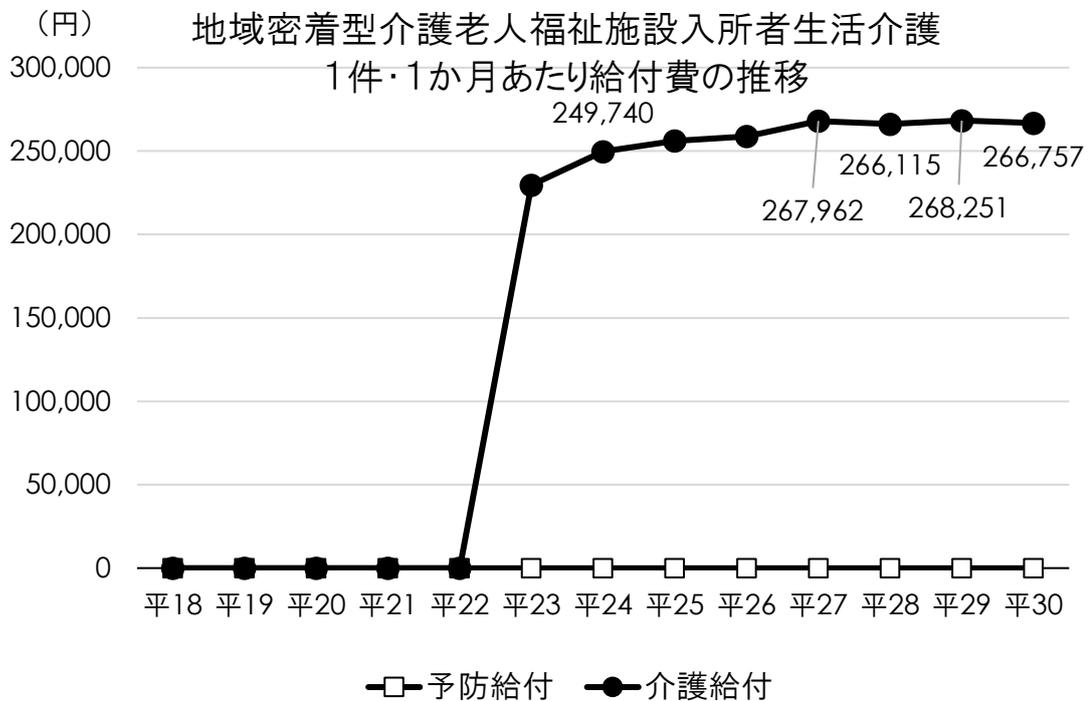
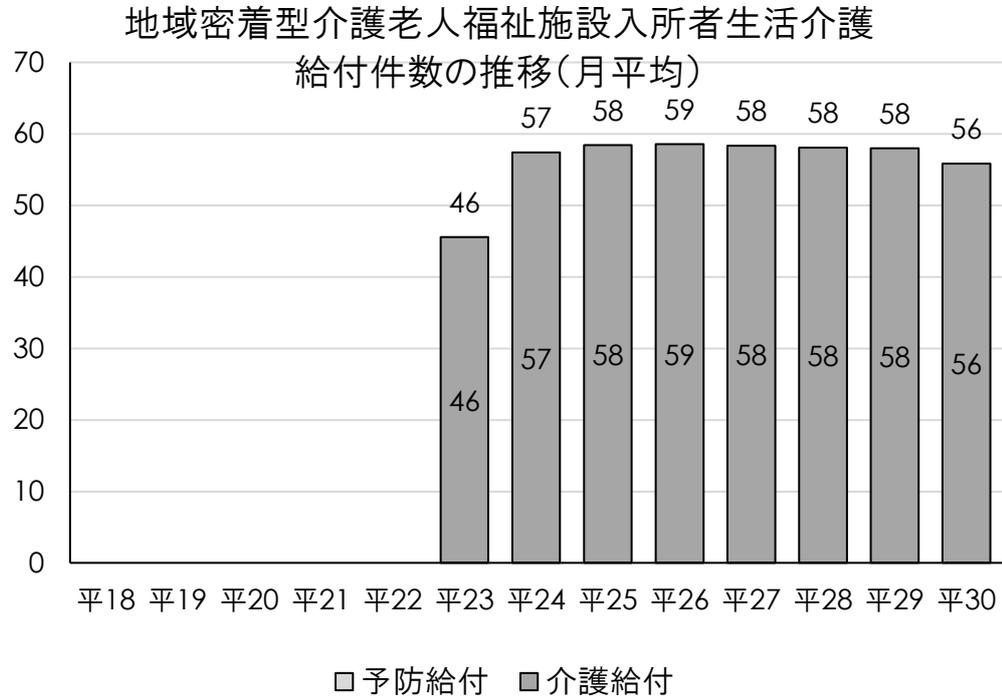
地域密着型特定施設入居者生活介護の利用件数は、平成 25 年度以降、横ばいで推移しています。

1 件あたり給付費についても、ほぼ横ばいとなっています。



地域密着型介護老人福祉施設の利用件数は、平成 24 年度以降、横ばいで推移しています。

1 件あたり給付費についても、ほぼ横ばいとなっています。



看護小規模多機能型居宅介護の利用件数は、平成 29 年度はごくわずかであり、平成 30 年度には 10 件となっています。

1 件あたり給付費については、上昇しています。

